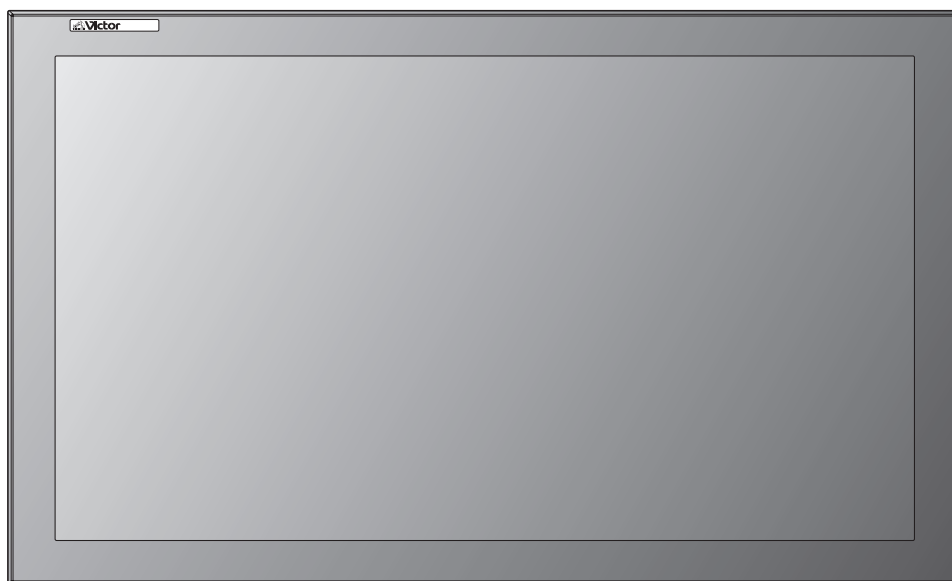


液晶ディスプレイ

型名 **GM-H40L2**

取扱説明書



お買い上げありがとうございます

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(4～7ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

本機の特長

W-XGA 対応&ハイコントラストな画像を表示

W-XGA 対応の液晶パネル（画素数 1366 × 768）を搭載し、文字情報や分割画面もワイドに表示。また、優れたコントラスト比を実現し、明るい場所でも視認性の高いメリハリのある画像を再現します。

画面の焼き付きが少なく、文字情報もクリアに提供

液晶ディスプレイは、自発光ではなくバックライトからの光で映像を表示するため、文字情報など同じ画像を長時間表示しても焼き付きを起こしにくく、いつまでもクリアな画面で使用可能です。

目に優しく省エネ効果がある「エコセンサー」を搭載

設置場所の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調節します。節電になり、目にやさしい機能です。また、液晶パネルを保護して、寿命を保ちます。

インプットカードスロットを 2 基搭載

標準装備の入力端子に加え、さらに別売のインプットカードを 2 基追加可能。多彩な入力信号に対応できます。

次世代放送方式 DTV（デジタルテレビ）の主要な方式に対応

次世代放送方式のフォーマットを自動的に判別し、表示します。

DTV 対応フォーマット： 480/60i、576/50i、480/60p、576/50p、720/60p、720/50p、1080/60i（1035/60i）、1080/50i、1080/24psF

高解像度のコンピューター信号に対応

UXGA60（解像度：1600 × 1200）までのコンピューター信号に対応します。

3 種類の画質モードを搭載

お使いの用途に合わせて画質を選べます。お好みの画質にあらかじめ設定して選ぶこともできます。

安心のセキュリティ機能

任意のパスワードを設定して、パスワードを入力しないと本機の電源が入られないようにロックできます。盗難防止に役立ちます。

2 種類のアワーメーターを搭載

合計使用時間を確認するアワーメーターのほかに、毎回の使用時間を確認できるサブアワーメーターを搭載。本機の保守点検作業時などにご利用いただけます。

自己診断表示機能を搭載

本機に不具合が発生しても、自己診断回路がその原因を自己診断し、表示します。

目次

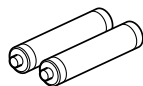
はじめに	<p>本機の特長 2</p> <p>安全上のご注意 4</p> <p>その他のご注意 8</p> <p> お手入れのしかた 8</p>
準備	<p>各部の名前と働き 9</p> <p> リモコン 9</p> <p> 本体前面 10</p> <p> 本体背面 10</p> <p>設置する 12</p> <p> 外部スピーカーを接続する 13</p>
接続	<p>接続する 14</p> <p> 本機で再生できる信号について 14</p>
基本操作	<p>基本操作 18</p> <p> 1 主電源を入れる 18</p> <p> 2 電源を入れる 18</p> <p> 3 入力を選ぶ 18</p> <p> 4 音量を調節する 18</p> <p> 画面サイズを切り換える 19</p> <p> ステータスを表示する 19</p> <p> 画質を選ぶ 20</p> <p> 入力 A と入力 B (アナログ RGB 入力) を同時に見る 20</p>
設定	<p>メニュー操作 21</p> <p>メインメニューの設定 22</p> <p>セットアップメニューの設定 28</p> <p> セキュリティロックを設定する 32</p>
外部制御	<p>外部制御の使いかた 33</p> <p> 外部制御の概要 33</p> <p> シリアル方式での外部制御 34</p> <p> MAKE / TRIG. 方式での外部制御 36</p>
困ったときは	<p>故障かな?と思ったら 38</p> <p> 自己診断表示 40</p>
付録	<p>保証とアフターサービス 41</p> <p>主な仕様 42</p>

付属品一覧



リモコン
(RM-C2006)

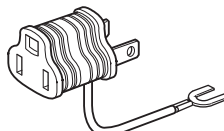
単 3 乾電池 (リモコン用)



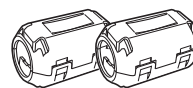
電源コード



アダプター



フェライトコア^注



^注 外部スピーカーを取り付けるときに、本機から外部機器への影響を抑えるため、左右のスピーカーコードに必ず取り付けてください。(P.13 ページ)

安全上のご注意

(必ずお守りください)

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと



禁止されていること



実行して欲しいこと



警告 設置・使用

表示された電源電圧（交流100V）以外で使用しない



禁止

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む



一般的注意

電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントには接続しない



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



めれ手禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない



禁止

電源プラグはコードの部分を持って抜かない



禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない



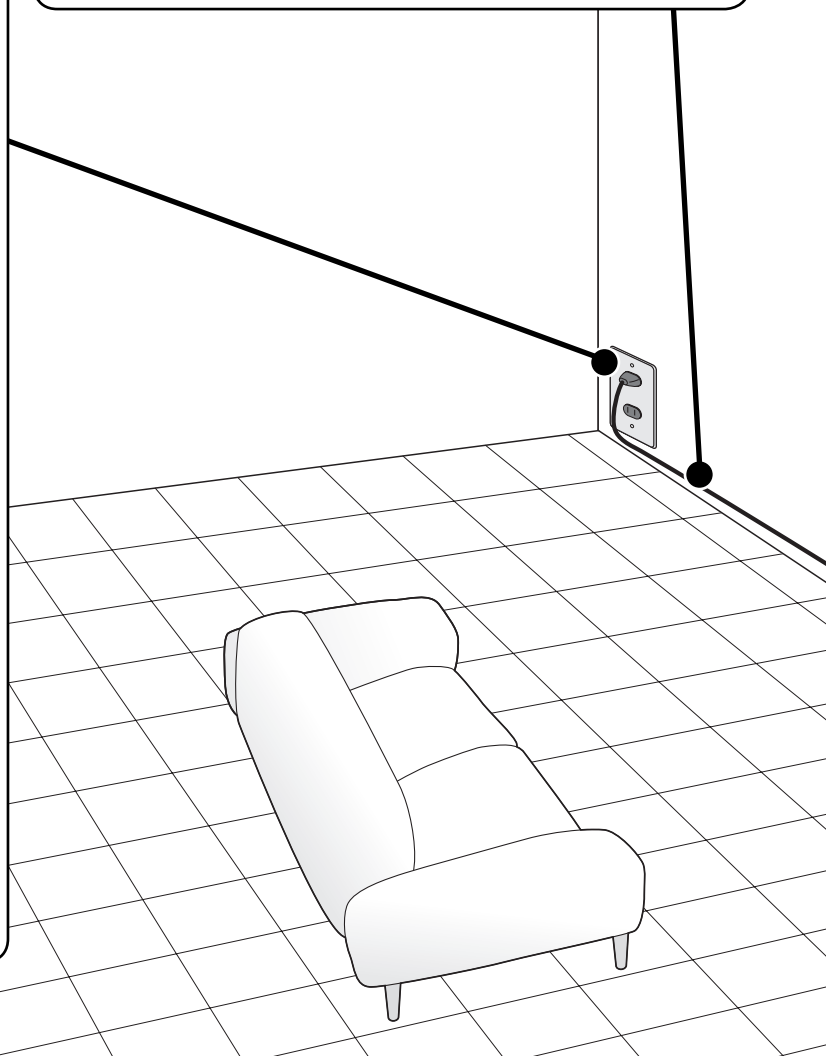
感電注意

電源コードを傷つけない



禁止

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない





万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする。
- 映像が映らない、音が出ない。
- 内部に水や物が入ったとき。
- 落下などにより破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき。

電源スイッチを切る。

電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。



この機器の上に水の入ったものを置かない



禁止

内部に物を入れない

感電を起こすことがあります。特にお子様には十分注意してください。



禁止

不安定な場所に置かない



禁止

壁にかけるときは、販売店（専門の業者）に依頼する

壁にかけるときは必ず販売店（専門の業者）にご依頼ください。一般のかたが行うと、落下して本機が破損するだけでなく、けがや感電の原因となり、大変危険です。



一般的注意

壁や他の機器と間隔をあけて設置する

放熱をよくするため、周囲との間に距離を保つようにしてください。（※12ページ）
本機は若干熱を帯びる構造になっています。過熱防止のため空間距離を保つとともに、取り扱いには十分気をつけてください。



一般的注意

風呂場などの水のある場所で使わない



水場での使用禁止

この機器の裏ぶた、カバー、キャビネットを外したり改造したりしない



分解禁止

通気孔をふさがない

- ・じゅうたんや布団などの上に置かない
- ・テーブルクロスなどを掛けない
- ・横倒し、逆さまにしない



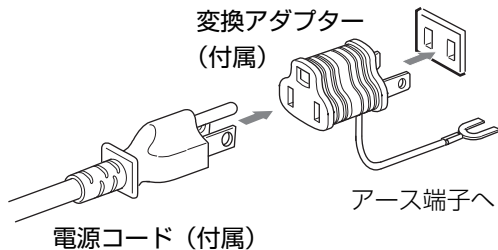
禁止

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意 設置・使用

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。



アース線をつなぐ

- 電源コンセントが3極の場合
付属の電源コードを接続すると、安全アースも接続されます。
- 電源コンセントが2極の場合
付属の変換アダプターをつなぎ、変換アダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子につないでください。
- アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

付属の電源コード以外を使用しない。



禁止

付属の電源コードを他の機器に使用しない。



禁止

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントにつないでいると、主電源スイッチを切っても微弱な電流が流れます。電流を完全に遮断するには、電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

移動するときは電源プラグや接続コード類を外す

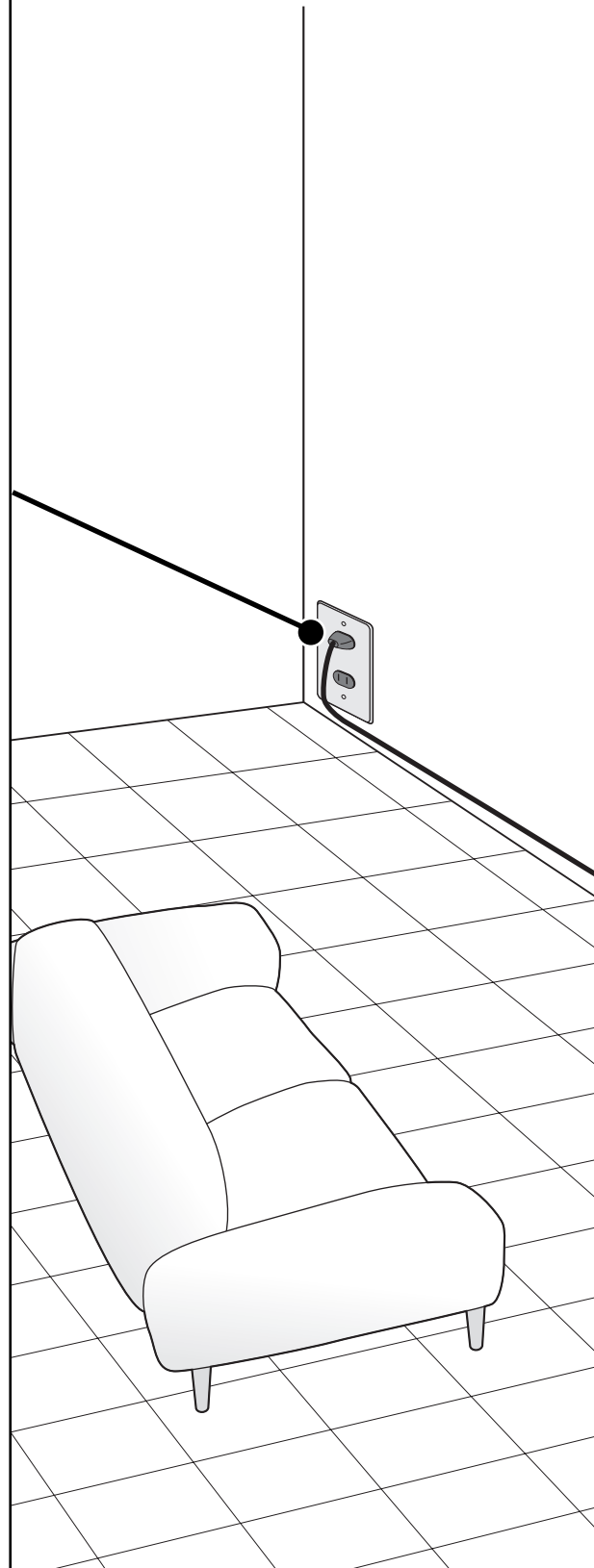


プラグをコンセントから抜く

電源コードを抜くときは、壁側のコンセントを先に抜いてから本機側を抜く



プラグをコンセントから抜く



この機器の上に重い物を置かない



禁止

この機器の上に乗らない、ぶら下がらない



禁止

スタンドに設置するときは、転倒防止の処置をする



一般的注意

地震や不慮の事故などで、本機が倒れたり、設置場所から落下したりすると、本機が破損するだけでなく、けがや感電の原因となり、大変危険です。

スタンドに設置するときは、転倒を防止するための処置をしてください。

(参考例：12 ページ)

本機は重いので、必ず2人以上で持つ



一般的注意

次のような場所に置かない



禁止

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

1年に1度は内部の点検を販売店に依頼する



一般的注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください。



一般的注意

その他のご注意

乾電池の使いかた

乾電池は間違った使いかたをすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない。
- 種類の違う乾電池は混ぜて使わない。
- 乾電池ケースのプラス（+）とマイナス（-）の表示どおりに入れる。
- ショートを防ぐため、必ず乾電池のマイナス（-）側を先に入れる。
- 指定された乾電池以外は使わない。
- 長期間使用しないときには、乾電池を取り出しておく。
- 乾電池が消耗して使えなくなったときは、すぐに取り出して交換する。
液漏れの原因になったり、液漏れによって故障の原因となることがあります。また、漏れた液が肌に触れるなどしたときは、布で拭き取ります。そのままにしておくと、肌が荒れる原因となることがあります。
- 乾電池を火の中へ入れたり、充電したりしない。

お知らせ

乾電池は普通の使いかたで、約6か月から1年間使えますが、付属の乾電池は動作確認用ですので短くなる場合があります。操作しにくくなったなら、新しい乾電池に交換してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

お手入れのしかた

画面

画面に「ムラ」「変色」「キズ」「欠陥」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので、次のことに注意してください。

- のりやテープなどを貼らない
- ペンなどで書き込みをしない
- 硬いものにぶつけない
- 結露させない
- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤などでふかない
- 強くこすらない

画面の汚れを取り除く場合には、柔らかい布を使ってからぶき・かたく絞った水ぶき・薄めた中性洗剤でかたく絞った水ぶきを行なってください。

キャビネット

キャビネットが変質したり、傷ついたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤などでふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない
- 強くこすらない

キャビネットの汚れを取り除く場合には、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

通気孔

通気孔に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布で拭き取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

各部の名前と働き

リモコン

POWER OFF

電源を「切」にします。
(☞18 ページ)

SET-UP

セットアップメニューを表示します。
(☞21 ページ)

MENU/EXIT

メインメニューを表示します。
(☞21 ページ)

PICTURE MODE

画質を切り換えます。
(☞20 ページ)

DUAL DISPLAY

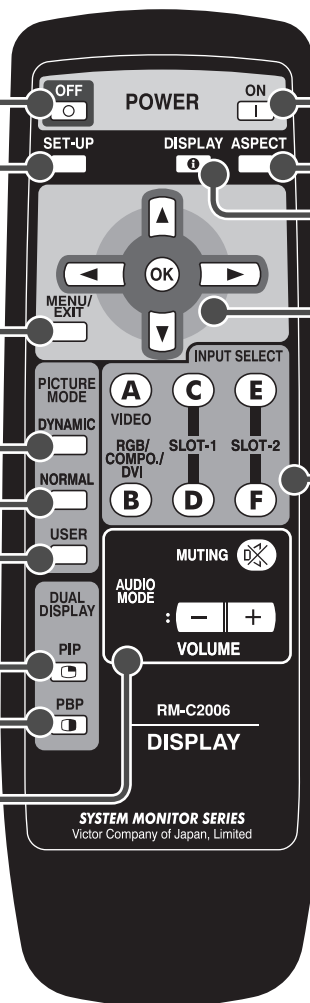
2画面表示します。(☞20 ページ)

AUDIO MODE

VOLUME + / -
音量を調節します。
(☞18 ページ)

MUTING

消音します。(☞18 ページ)



POWER ON

電源を「入」にします。(☞18 ページ)

ASPECT

画面サイズを切り換えます。
(☞19 ページ)

DISPLAY

現在の入力の情報(ステータス)を表示します。(☞19 ページ)

▲▼◀▶

メニューを操作します。
(☞21 ページ)

OK

セキュリティロックのパスワードを決定するときに押します。(☞32 ページ)

INPUT SELECT

入力を切り換えます。(☞18 ページ)

A (VIDEO)

VIDEO IN A端子の入力(入力A)を選びます。

B (RGB/COMPO./DVI)

VIDEO IN B端子の入力(入力B)を選びます。

C、D (SLOT-1)

スロット1に装着したインプットカード(別売)の入力(入力C/D)を選びます。

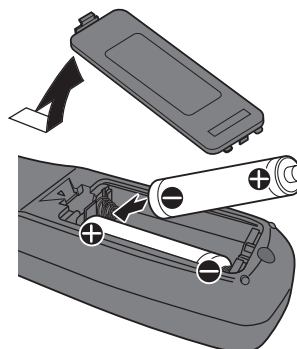
E、F (SLOT-2)

スロット2に装着したインプットカード(別売)の入力(入力E/F)を選びます。

リモコンに乾電池を入れるには

ご注意

- 乾電池ケースのプラス(+)とマイナス(-)の表示どおりに入れてください。
- ショートを防ぐため、必ず乾電池のマイナス(-)側を先に入れてください。



各部の名前と働き (つづき)

本体前面

リモコン受光部

リモコンの先端をここに向けます。



エコセンサー (ECO SENSOR)

周囲の明るさを感知します。(☞27 ページ)

自己診断表示ランプ

本機に異常が起きたときに点灯／点滅します。(☞40 ページ)

電源ランプ

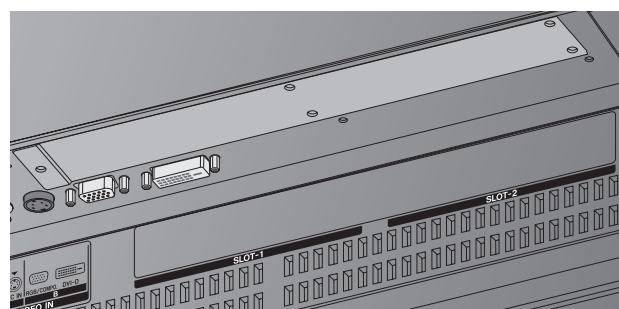
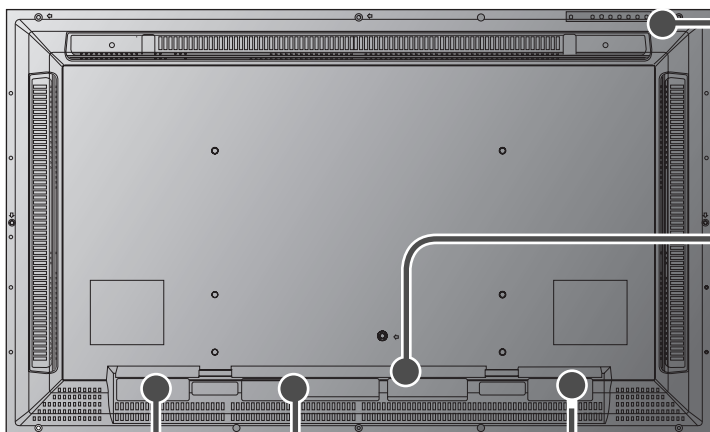
消灯：主電源「切」

緑色 (点灯)：電源「入」

オレンジ色 (点滅)：スリープモード

オレンジ色 (点灯)：電源「切」(スタンバイ)

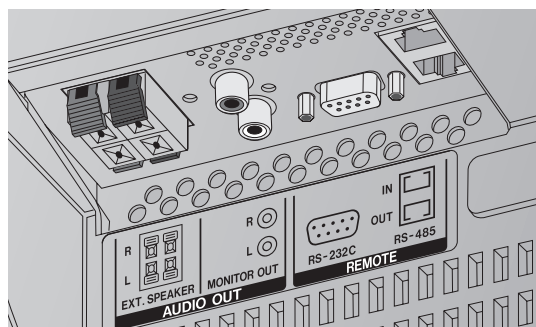
本体背面



インプットカードスロット (SLOT-1、SLOT-2)

インプットカード (別売) を取り付けます。

・インプットカードの詳細についてはインプットカードの取扱説明書をご覧ください。



REMOTE 端子

外部制御機器をつなぎます。(☞16、33～37 ページ)

RS-232C 端子：パソコンの RS-232C 端子とつなぎます。

RS-485 端子：

IN 端子： 本機を外部機器で制御することができます。

OUT 端子： IN 端子の制御をカスケード接続することができます。

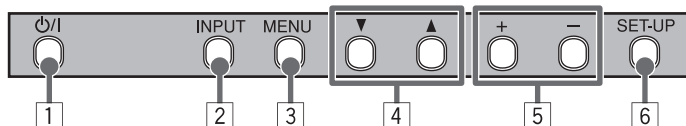
AUDIO OUT 端子

外部のスピーカーをつなぎます。

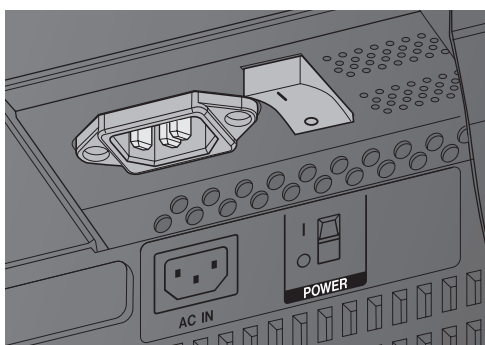
EXT. SPEAKER 端子：市販の外部スピーカーをつなぎます。(☞13 ページ)

・外部スピーカーを使用するときは、メインメニューの「AUDIO SETTING」で「SPEAKER SELECT」を「EXT.」に設定します。(☞25 ページ)

MONITOR OUT 端子：オーディオアンプなどの音声入力端子とつなぎます。(☞16 ページ)



- 1 電源 (電源) 電源を「入」 / 「切」します。(18 ページ)
- 2 INPUT 入力を切り換えます。(18 ページ)
- 3 MENU メインメニューを表示します。(21 ページ)
- 4 ▲ / ▼ メニュー項目の選択に使用します。(21 ページ)
- 5 + / - 音量を調節します。(18 ページ)
・メニューを表示しているときは、項目の調節に使用します。(21 ページ)
- 6 SET-UP セットアップメニューを表示します。(21 ページ)

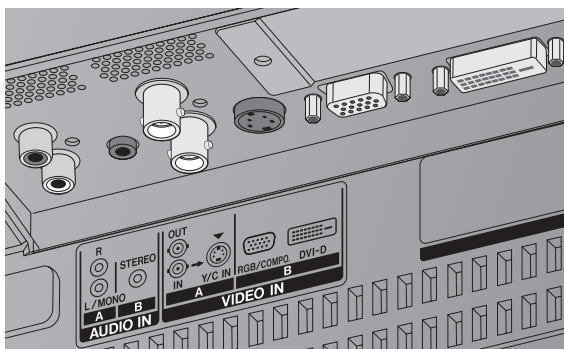


AC IN (電源入力) 端子

付属の電源コードをつなぎます。(17 ページ)

POWER (主電源) スイッチ (18 ページ)

- I: 「入」(リモコンや本体の電源ボタンで本機の電源を「入」 / 「切」できます。)
- O: 「切」



AUDIO IN A / B 端子

機器の音声出力端子とつなぎます。(17 ページ)

AUDIO IN A 端子

R、L/MONO 端子 (ピンジャック):

VIDEO IN A 端子につないだ機器の音声出力端子とつなぎます。音声がモノラルのときは L/MONO 側につなぎます。

AUDIO IN B 端子

STEREO 端子 (ステレオミニジャック):

VIDEO IN B 端子につないだ機器の音声出力端子とつなぎます。

VIDEO IN A / B 端子

機器の映像出力端子とつなぎます。(17 ページ)

VIDEO IN A 端子

IN 端子 (BNC): ビデオデッキなどの再生機器の映像出力端子とつなぎます。

OUT 端子 (BNC): 他のモニターなどの映像入力端子とつなぎます。

Y/C IN 端子 (Y/C): ビデオデッキなどの再生機器の S 映像出力端子とつなぎます。

- ・IN 端子と Y/C IN 端子の両方を接続したときは、Y/C IN 端子への入力信号が優先されます。

VIDEO IN B 端子^{注1}

RGB/COMPO. 端子 (D-sub15 ピン):

パソコンやビデオデッキなどの再生機器^{注2}の映像出力端子とつなぎます。

DVI-D 端子 (DVI-D): パソコンのデジタル出力端子とつなぎます。

^{注1} 電磁波妨害を抑制するために、パソコンと接続するケーブル (D-sub15 ピンおよび DVI-D) には、市販のフェライトコア付きケーブルで、長さが 3m 以内のものを使用してください。

^{注2} 市販の変換ケーブルが必要です。

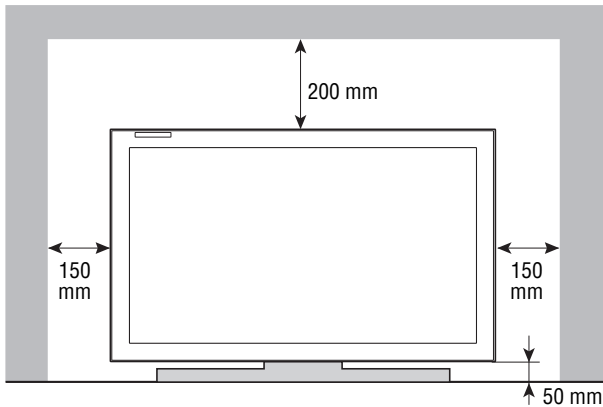
設置する

設置するときの注意

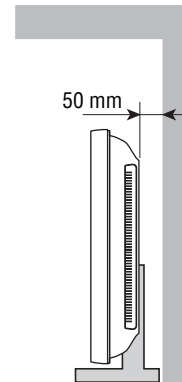
- 本機を据え付けるときは、専用のスタンド、壁掛け金具などを必ず使用してください。据え付けは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。
- 本機を斜めに据え付けるなど特殊な設置方法を用いるときは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。
- 電源コード、接続ケーブルは引っかからないように、壁、床などの隅に配線してください。
- 放熱をよくするため、周囲には下図の空間距離（最低距離）を保つようにしてください。
- 設置場所によっては（天井の近くなど）、周囲の影響を受け、正しくリモコン操作ができないことがあります。このようなときは影響のない場所に本機を移動してください。
- 据え付け場所の周囲温度は、0℃～40℃の範囲で使用してください（設置環境により多少異なります）。
- 他のAV機器と相互に悪影響を与える設置はしないでください。（例えば、電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音や赤外線リモコンの誤動作が発生したときは設置場所を変えてください。）

スタンドに設置するとき

前面



側面

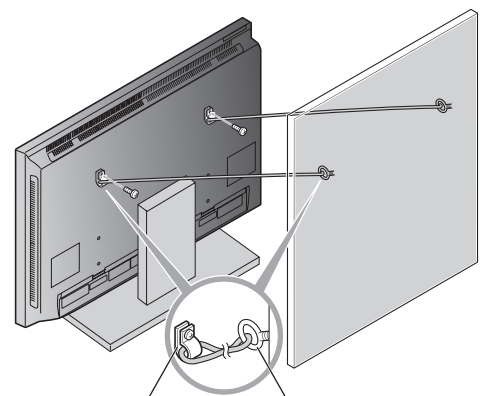


転倒防止のために（参考例）

本機をひもで壁に固定することで、転倒を防止することができます。

固定のしかた

本機背面にある別売品取り付け用ネジ穴に、市販のフックとネジ（M6、長さ 20mm）を取り付けます。取り付けしたフックに市販の丈夫なひもを結び、壁面や柱など堅牢部に固定します。

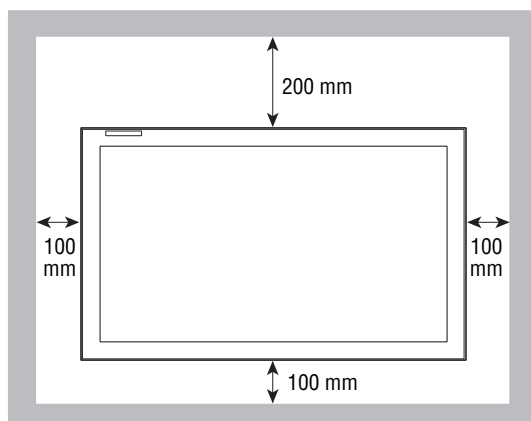


市販のフックとネジ
（M6、長さ 20mm）

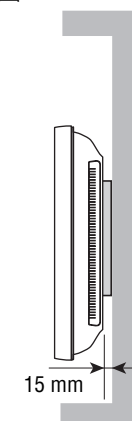
市販のフック

壁にかけるとき

前面

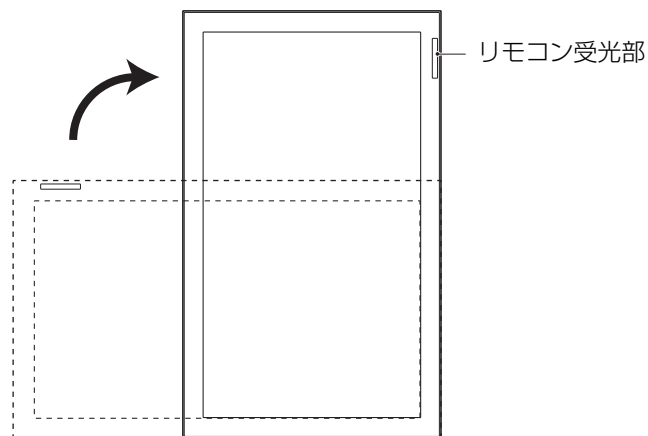


側面



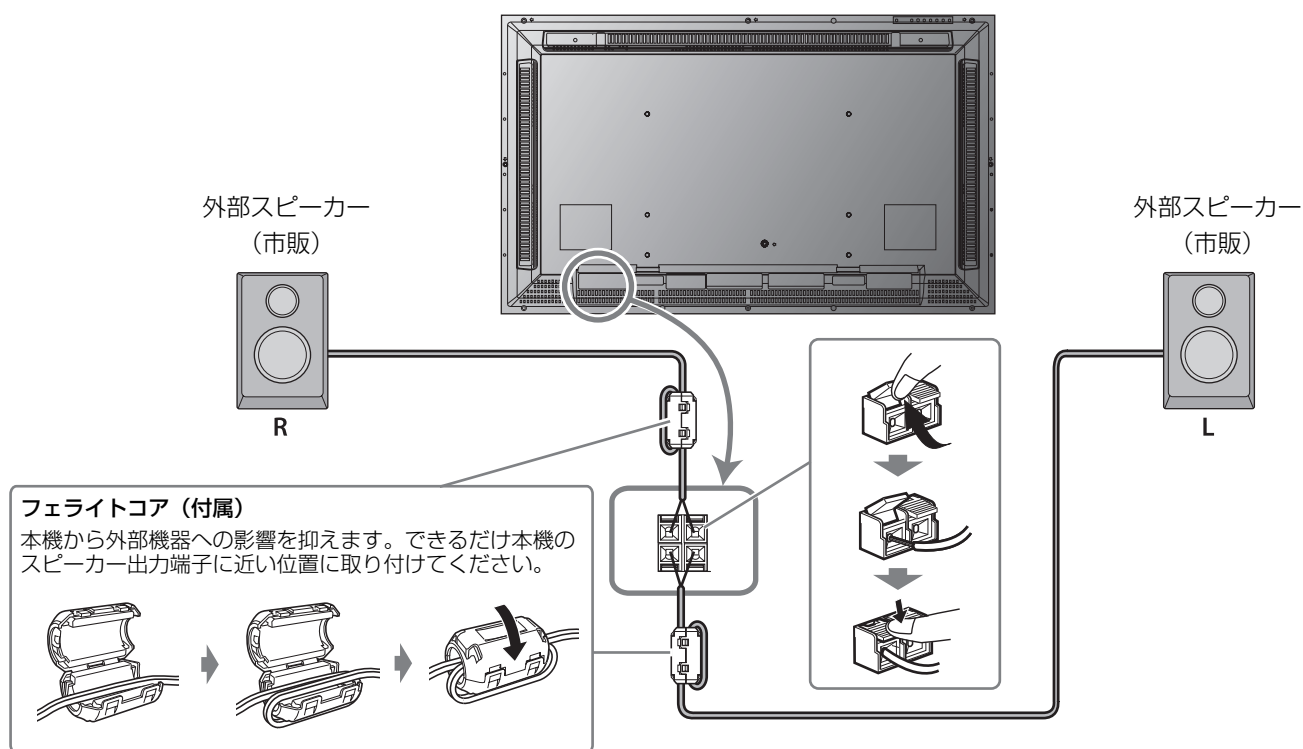
本機を縦型で使用する時

- 図のような向きで使用してください。
- 内蔵ファンの回転数を「HIGH」に設定してください。
(☞ 「COOLING MODE」 31 ページ)



外部スピーカーを接続する

外部スピーカー端子には、市販のスピーカー（インピーダンス 6 Ω～8 Ω、定格入力 3W 以上）を接続します。



お知らせ

- 外部スピーカーを使用するときは、メインメニューの「AUDIO SETTING」で「SPEAKER SELECT」を「EXT.」に設定します。
(☞ 25 ページ)
- ⊕、⊖ をショートさせないでください。(取り付けの際はスピーカーの取扱説明書も併せてお読みください。)

接続する

本機で再生できる信号について

本機では、次のような信号を入力・再生できます。

ビデオ信号

VIDEO IN A 端子：NTSC、PAL、SECAM、PAL60、NTSC4.43、PAL M、PAL N、白黒 (50Hz/60Hz)

VIDEO IN B (RGB/COMPO.) 端子：

- コンポーネント信号：480/60i、576/50i、480/60p、576/50p、720/60p、720/50p、1080/60i (1035/60i) ^{注1}、1080/50i、1080/24psF
^{注1} アナログハイビジョン用 (1035) またはデジタルハイビジョン用 (1080) の設定を選べます。
メインメニューの「FUNCTION SETTING」で「1080/1035」を切り換えてください。(☞27ページ)
- RGB 信号：15kHz/50Hz ^{注2}、15kHz/60Hz ^{注2}
^{注2} インターレース信号のみ

コンピューター信号 (プリセット)

VIDEO IN B (RGB/COMPO.、DVI-D) 端子：

No.	名称	解像度		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	走査方式	入力端子	
		水平	垂直				RGB/COMPO.	DVI-D
1	PC98	640	400	24.8	56.4	ノンインターレース	○	×
2	VGA400/70	640	400	31.5	70.1	ノンインターレース	○	×
3	VGA60	640	480	31.5	59.9	ノンインターレース	○	○
4	WVGA60	852	480	31.5	59.9	ノンインターレース	○	○
5	VGA72	640	480	37.9	72.8	ノンインターレース	○	×
6	SVGA60	800	600	37.9	60.3	ノンインターレース	○	○
7	XGA60	1024	768	48.4	60.0	ノンインターレース	○	○
8	WXGA60	1366	768	48.4	60.0	ノンインターレース	○	○
9	WXGA (1280)	1280	768	47.8	60.0	ノンインターレース	○	○
10	WXGA (1360)	1360	768	47.7	60.0	ノンインターレース	×	○
11	1280 * 720	1280	720	44.8	60.0	ノンインターレース	○	○
12	XGA70	1024	768	56.5	70.1	ノンインターレース	○	×
13	XGA75	1024	768	60.0	75.0	ノンインターレース	○	×
14	XGA85	1024	768	68.7	85.0	ノンインターレース	○	×
15	XGA+75 ^{注3}	1152	864	67.5	75.0	ノンインターレース	○	×
16	SXGA60 ^{注3}	1280	1024	64.0	60.0	ノンインターレース	○	○
17	SXGA75 ^{注3}	1280	1024	80.0	75.0	ノンインターレース	○	×
18	SXGA+60 ^{注3}	1400	1050	64.0	60.0	ノンインターレース	○	○
19	SXGA+60* ^{注3}	1400	1050	65.2	60.0	ノンインターレース	○	○
20	UXGA60 ^{注3}	1600	1200	75.0	60.0	ノンインターレース	○	×
21	MAC13	640	480	35.0	66.7	ノンインターレース	○	×
22	MAC16	832	624	49.7	74.6	ノンインターレース	○	×
23	MAC19	1024	768	60.2	74.9	ノンインターレース	○	×
24	MAC21 ^{注3}	1152	870	68.7	75.1	ノンインターレース	○	×

○：入力可

×：入力不可

^{注3} No.15 ~ 20、24 の信号は、解像度が本機のパネルの解像度より高いため、細かい線が見えにくい場合があります。

VIDEO IN A (IN、Y/C IN) 端子について

IN 端子と Y/C IN 端子の両方を接続したときは、Y/C IN 端子への入力信号が優先されます。

VIDEO IN B (RGB/COMPO.、DVI-D) 端子について

ご使用の端子または入力信号にあわせて、メインメニューの「INPUT CONFIGURATION」で「INPUT B」を正しく設定してください。(☞25 ページ)

- RGB/COMPO. 端子を RGB 端子として使うとき：ANALOG RGB
- RGB/COMPO. 端子をコンポーネント端子として使うとき：COMPONENT
- DVI-D 端子を使うとき：DVI

コンポーネント信号について

Y on sync 信号にのみ対応します。複合同期信号 (Cs) およびセパレート同期信号 (HD / VD) には対応しません。

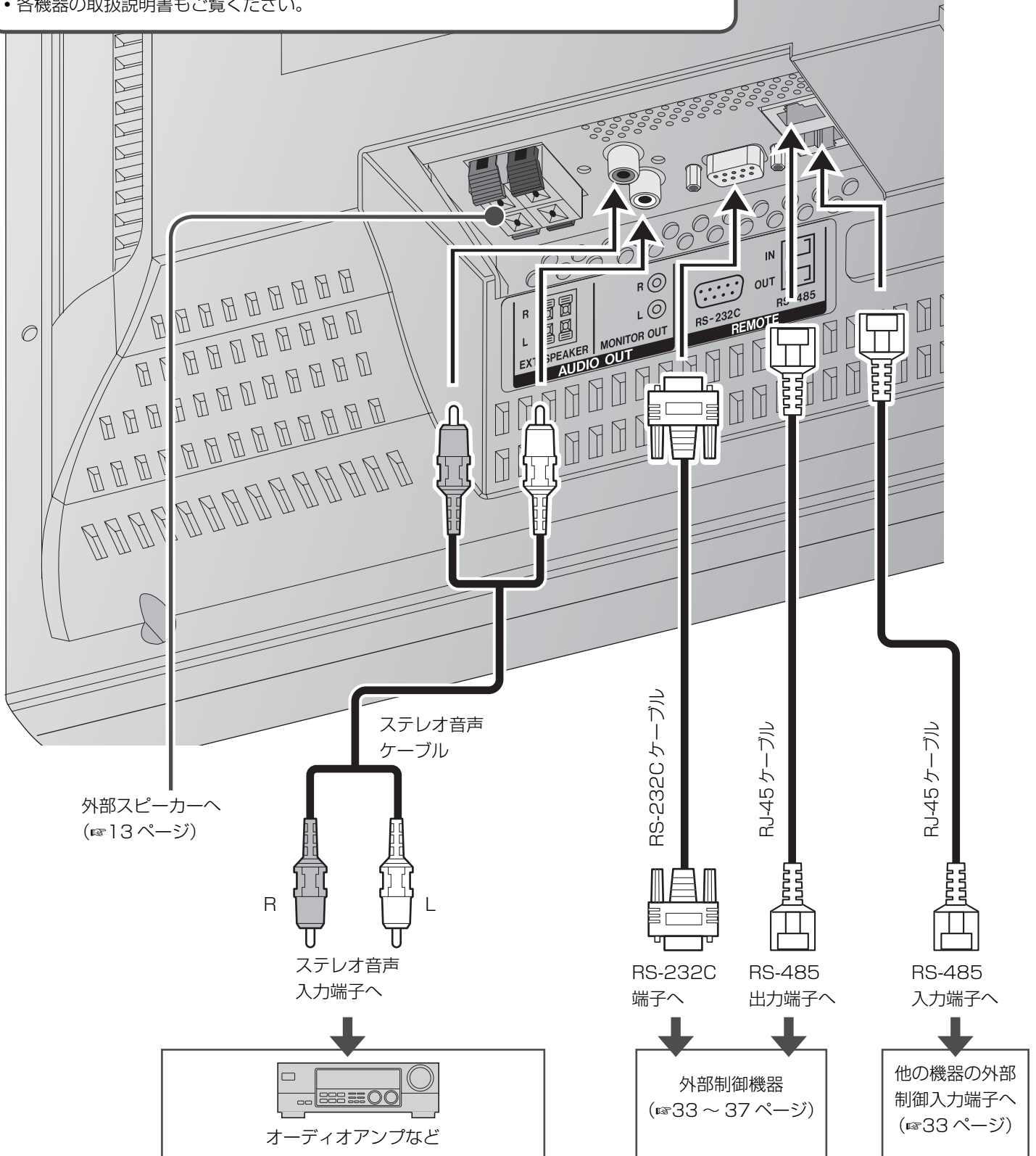
コンピューター信号について

- アナログ RGB 入力するとき、次の場合は画面の一部が欠けたり、不要な画面が出る場合があります。その場合は、「SIZE SETTING」で「SIZE」と「POSITION」を調節してください(☞23 ページ)。
 - － 14 ページの表以外の信号を入力した場合
 - － 解像度は同じでも、水平周波数・垂直周波数が 14 ページの表と違う信号を入力した場合
 - － パソコン画面の解像度設定と、実際に出力される信号の解像度が違う場合
- 入力可能な周波数範囲内の信号でも、プリセットされていない信号は正常に映らないことがあります。
- 接続機器により複合同期信号 (Cs)、G on sync 信号には対応しないことがあります。
- 初期設定に登録された信号を入力したときは、画面に信号フォーマットが表示されます。初期設定に登録されていない信号を入力したときは、水平周波数と垂直周波数または解像度が表示されます。
- DVI-D 端子で対応しているのは、No.3、4、6～11、16、18、19 の信号のみです。
- No.3、7 の信号を入力するときは、パソコンのビデオカードを 640 × 480 (No.3 の信号) / 1024 × 768 (No.7 の信号) に設定してください。アナログ RGB 入力ときは、さらに「SAMPLING MODE」を「STD」に設定してください。(☞31 ページ)
- No.4、8 の信号を入力するときは、パソコンのビデオカードを 852 × 480 (No.4 の信号) / 1366 × 768 (No.8 の信号) に設定してください。アナログ RGB 入力ときは、さらに「SAMPLING MODE」を「WIDE」に設定し(☞31 ページ)、画面サイズを「FULL」に切り換えてください。(☞19、23 ページ)
- No.15～20、24 の信号は、解像度が本機のパネルの解像度より高いため、細かい線が見えにくい場合があります。
- No.16 の信号を入力するときは、パソコンのビデオカードを 1280 × 1024 に設定してください。アナログ RGB 入力ときは、さらに「SXGA/SXGA+」を「SXGA」に設定してください。(☞31 ページ)
- No.18、19 の信号を入力するときは、パソコンのビデオカードを 1400 × 1050 に設定してください。アナログ RGB 入力ときは、さらに「SXGA/SXGA+」を「SXGA+」に設定してください。(☞31 ページ)

接続する (つづき)

ご注意

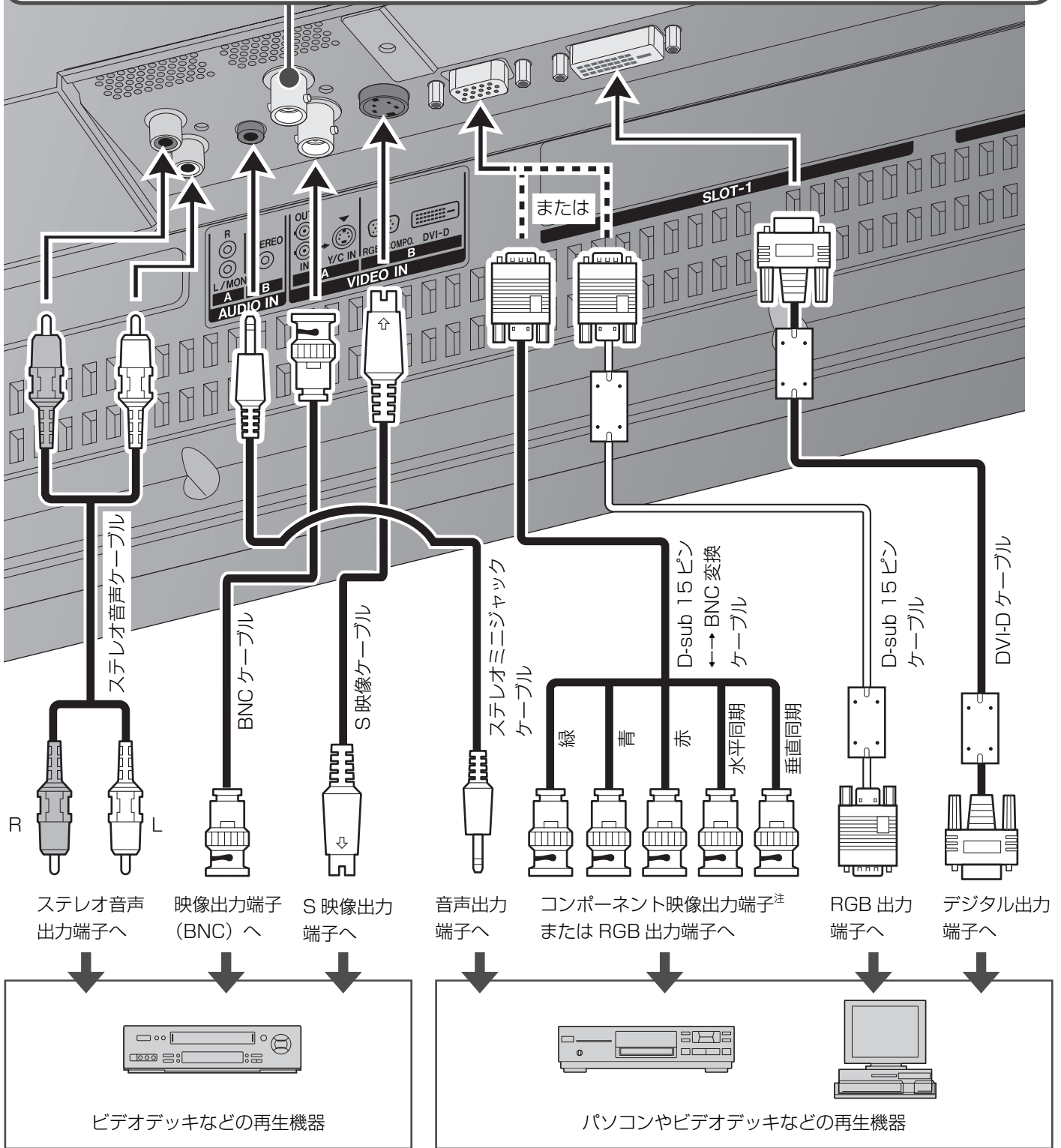
- 各機器の電源を切ってから接続を行なってください。
- 接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いと映像の乱れや雑音の原因となります。
- コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードはすべての接続が終わってからつないでください。
- 各機器の取扱説明書もご覧ください。



VIDEO IN A OUT 端子は他のモニターなどの映像入力端子とつなぎます。

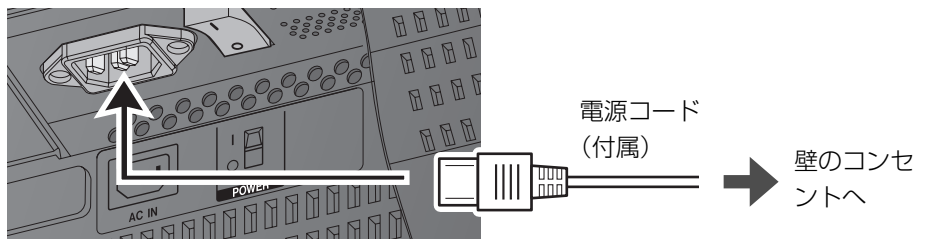
ご注意

- IN 端子と OUT 端子はブリッジ接続されています。OUT 端子に接続した機器で正しく終端されていないと、映像が明るくなったり、画面が異常となります。



注 コンポーネント映像出力端子につなぐ場合は、緑、青、赤のみ使用します。

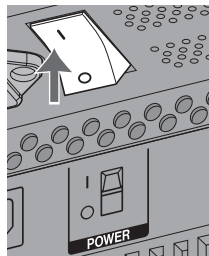
すべての機器の接続を終えたら



基本操作

1 主電源を入れる

I: 「入」
O: 「切」



本体背面

2 電源を入れる

リモコンを使うとき:



POWER OFF ボタンを押すと電源が「切」になります。

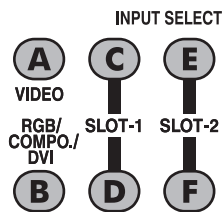
本体のボタンを使うとき:



押すごとに電源が「入」「切」します。

3 入力を選ぶ

リモコンを使うとき:



本体のボタンを使うとき:

押すごとに入力が切り換わります。



お知らせ

メインメニューの「QUICK SWITCH」を「INPUT A&B」に設定すると、入力 A と入力 B を素早く切り換えることができます。
(☞ 「INPUT CONFIGURATION」 25 ページ)

4 音量を調節する

リモコンを使うとき:



本体のボタンを使うとき:



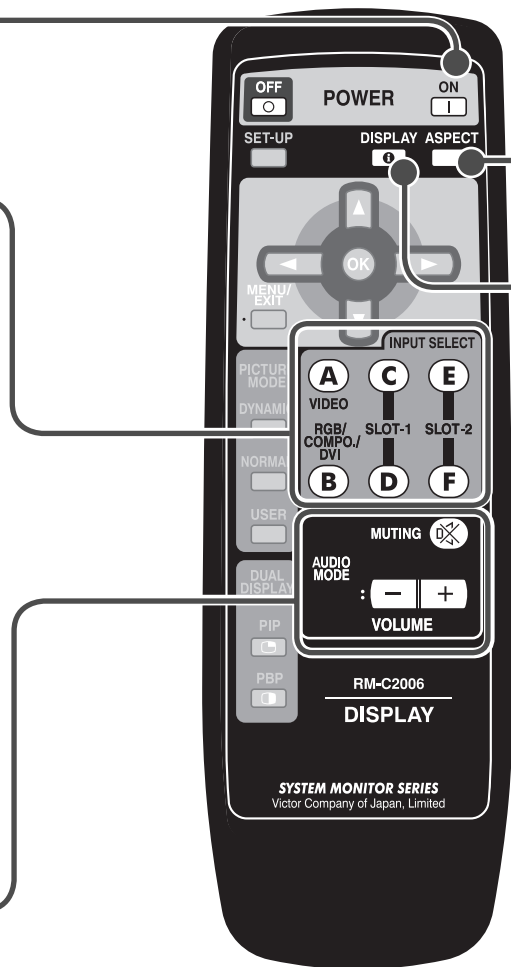
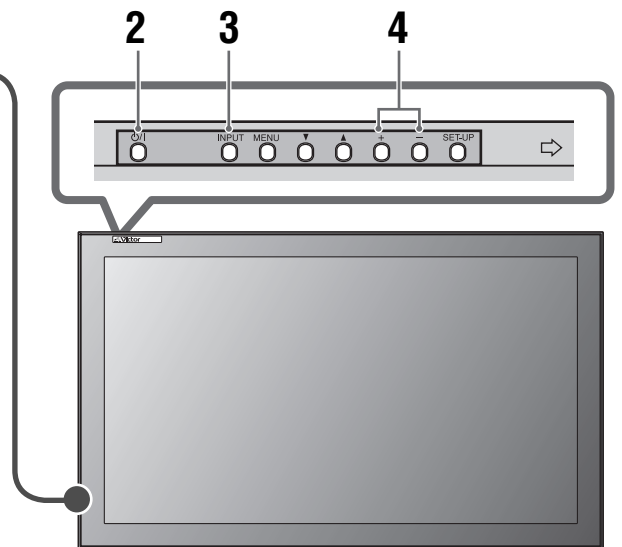
急いで音を消すとき:



もう一度押すと元の音量に戻ります。

(本体のボタンを使うときは、メインメニューで操作します。)

☞ 「AUDIO SETTING」 25 ページ



- コントロールロックが設定されているときは、本体で操作できません。(☞31 ページ)
- セキュリティロックが設定されているときは、電源を入れたときにパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。(☞32 ページ)

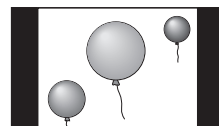
ASPECT 画面サイズを切り換える



押すごとに画面サイズが切り換わります。映像にあったアスペクト（画面の縦横比）を選んでください。

REGULAR（レギュラー）

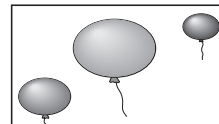
通常のアスペクト（4：3）の映像です。



FULL（フル）

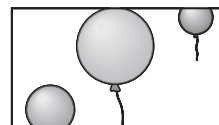
4：3の映像を全体的に横に拡大します。

・16：9の映像のときは、そのままのアスペクトです。



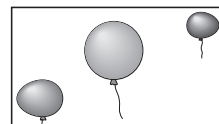
ZOOM（ズーム）

4：3の映像を縦、横同じ比率で拡大します。



PANORAMIC（パノラミック）

4：3の映像を不自然に見えないように拡大します。



<パソコン入力のみ>

REAL DOT（リアルドット）

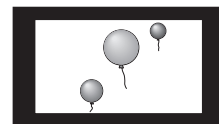
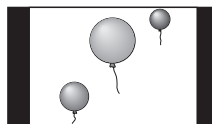
パソコンからの入力映像の中央部分を、画素数を変えずにそのまま表示します。次の信号が入力されているときのみ働きます。

・WXGA（1280）、WXGA（1360）、1280*720、SXGA60^{注1}、SXGA+60^{注1}、SXGA+60*^{注1}、UXGA60^{注1}

^{注1} アナログ RGB 入力のみ

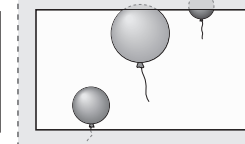
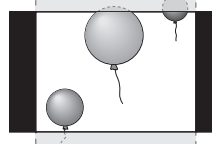
WXGA（1280）
WXGA（1360）

1280*720



SXGA60

SXGA+60/SXGA+60*/
UXGA60



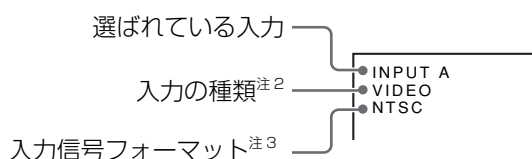
お知らせ

- ・入力信号によってはアスペクトは固定され、選択できないモードがあります。また、マルチディスプレイ（[27ページ](#)）を使用しているときは、アスペクトは「FULL」に固定され、切り換えられません。
- ・本体のボタンを使ってアスペクトを切り換えるときは、メインメニューの「SIZE SETTING」で操作します。（[23ページ](#)）

DISPLAY ステータスを表示する



現在選んでいる入力の情報を確認できます。



^{注2} 選んでいる入力が入力C～Fで、インプットカードを挿入しているときは、インプットカードの種類が表示されます。インプットカードを挿入していないときは「NO CARD」と表示されます。

^{注3} 入力信号がないときは「NO SYNC」と表示されます。本機で対応していない入力信号のときは「Out of range」と表示されます。

お知らせ

メインメニューの「STATUS DISPLAY」を「ON」に設定すると、次の場合にもステータスを表示します。（[27ページ](#)）

- ・電源を入れたとき
- ・入力を切り換えたとき
- ・信号を切り換えたとき

基本操作 (つづき)

画質を選ぶ

DYNAMIC : プレゼン資料などの映像に適したモードです。

NORMAL : 元の映像をそのまま表示します。

USER : お好みに合わせて映像を調節してください。(☞「PICTURE SETTING」23 ページ)

PICTURE
MODE

DYNAMIC



NORMAL



USER



お知らせ

画面の明るさなどは画質モードごとに調節できます。調節した内容は記憶されます。(☞「PICTURE SETTING」23 ページ)

入力 A と入力 B (アナログ RGB 入力) を同時に見る

入力 A と入力 B (アナログ RGB 入力) を同時に見ることができます (2 画面表示モード)。

- 2 画面表示モードは 2 種類あります。

PIP モード



メイン画面 サブ画面

PBP モード



メイン画面 サブ画面

DUAL
DISPLAY

PIP



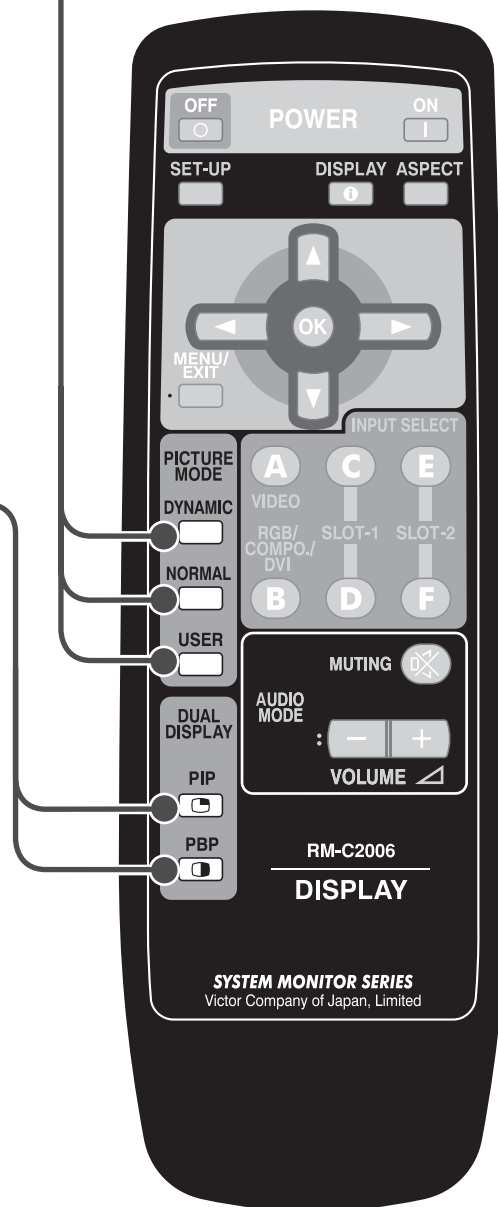
PBP



- ボタンを押すごとに 2 画面表示モードが「入」 / 「切」します。
- 2 画面表示モードを「入」にしたときに選んでいた入力をメイン画面に、もう一方の入力をサブ画面に表示します。

お知らせ

- 入力 B がアナログ RGB 入力の際のみ使用できます。2 画面表示できる信号については、27 ページをご覧ください。
- 2 画面表示中に入力を切り換えることはできません。入力を切り換えるときは、2 画面表示モードを「切」にしてから切り換えてください。
- サブ画面の表示位置と大きさはメインメニューで調節できます。(☞「DUAL DISPLAY」27 ページ)



お知らせ

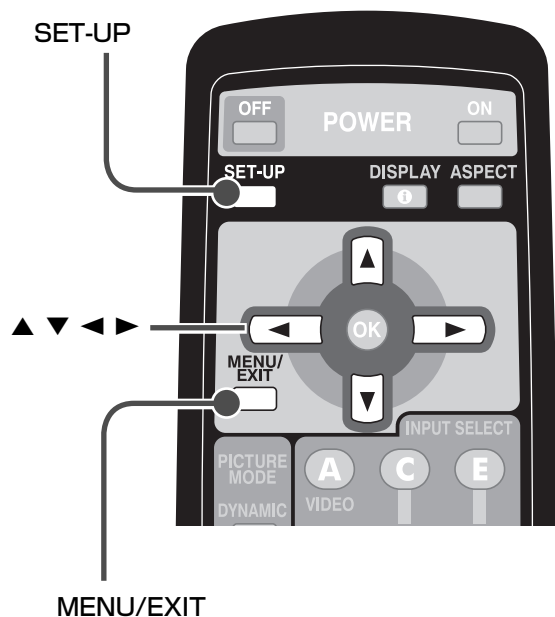
本体のボタンを使って画質や 2 画面表示を操作するときは、メニューから行います。(☞23、27 ページ)

メニュー操作

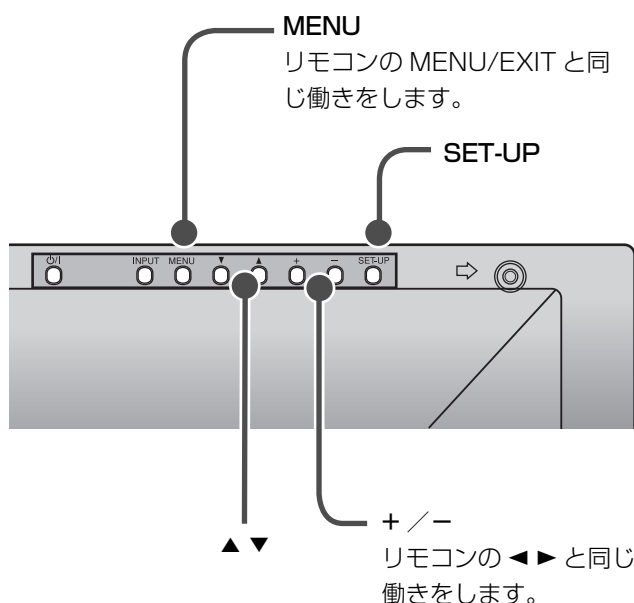
メインメニューとセットアップメニューを使って、好みの画質に調節したり、入力信号の初期設定を行います。

- メインメニューの設定項目については、22～27ページをご覧ください。
- セットアップメニューの設定項目については、28～32ページをご覧ください。

リモコン



本体背面



1 ボタンを押してメニューを表示する

MENU/EXIT : メインメニューを表示するとき

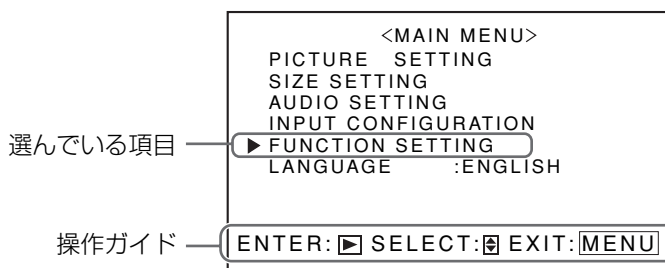


SET-UP : セットアップメニューを表示するとき

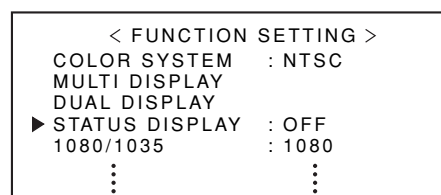


2 ▲▼で項目を選び、▶で次の画面へ進む

例：メインメニューを表示したとき



3 ▲▼で項目を選び、◀▶で設定する



4 MENU/EXIT を押して前の画面に戻る

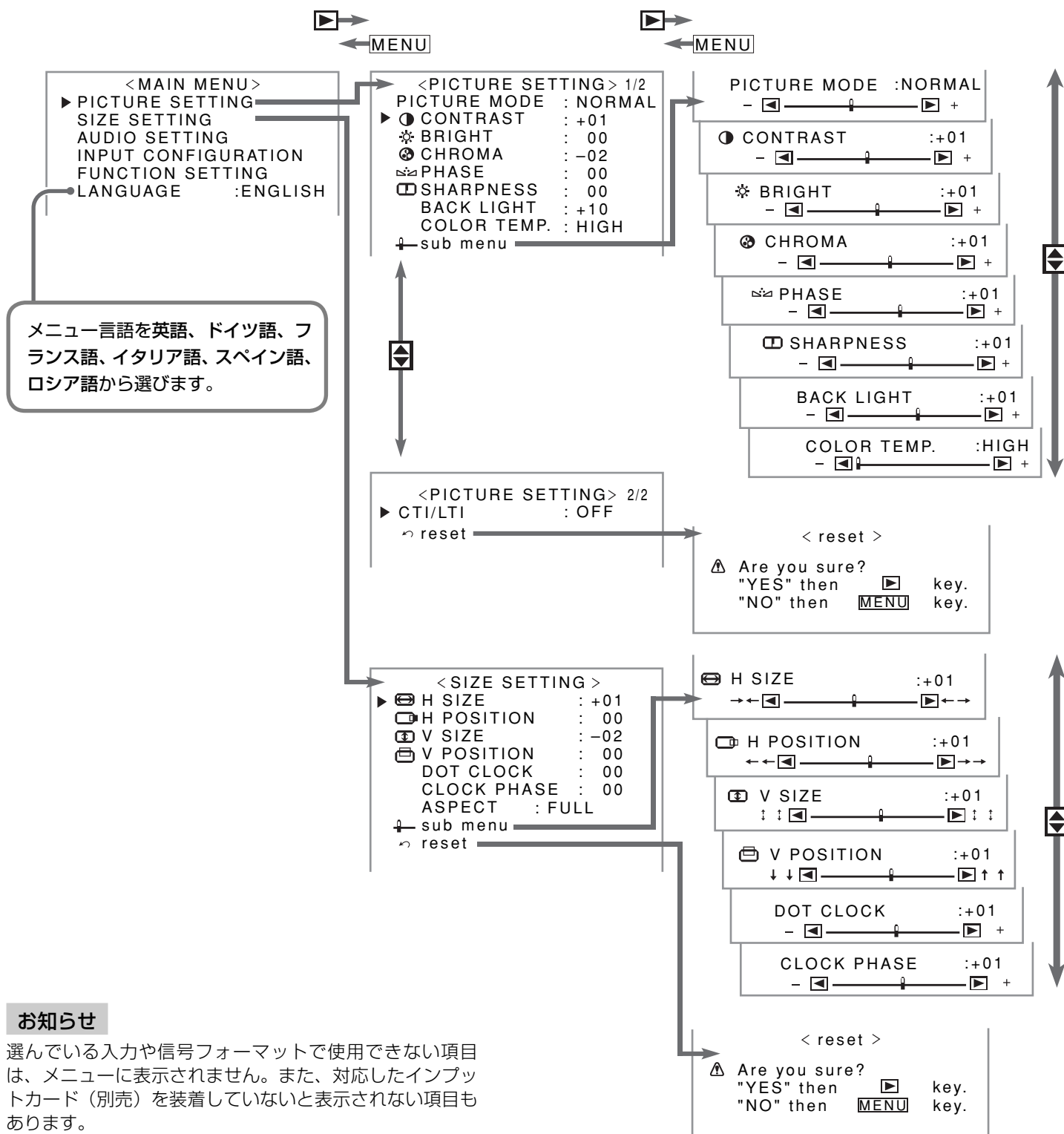
もう一度押すとメニュー画面は消えます。

お知らせ

手順2で◀▶を押したときに設定される項目もあります。

メインメニューの設定

メインメニューでは、画質や音声などを設定します。



メインメニュー画面の構成



PICTURE SETTING

項目名	内容	設定値
PICTURE MODE	3種類の画質からお好みの画質を選びます(☞ 「画質を選ぶ」20ページ)。	DYNAMIC、NORMAL、USER
CONTRAST	映像のコントラストを調節します。	-20 ↔ 00 ↔ +20
BRIGHT	映像の明るさを調節します。	-20 ↔ 00 ↔ +20
CHROMA	映像の色のこさを調節します。(入力信号がRGBまたは白黒(50Hz/60Hz)のときは調節できません。)	-20 ↔ 00 ↔ +20
PHASE	映像の色あいを調節します。	-20 ↔ 00 ↔ +20
SHARPNESS	映像の輪郭を調節します。	-20 ↔ 00 ↔ +20
BACK LIGHT	画面の明るさを調節します。	-20 ↔ 00 ↔ +20
COLOR TEMP.	色温度を選びます。	HIGH、MID、LOW、OTHER
sub menu	調節バーを使って、「PICTURE SETTING」の「CTI/LTI」以外の項目を映像を見ながら調節できます。	
CTI/LTI	くっきりした映像にします。	OFF、1 (くっきり)、2 (よりくっきり)
reset	「PICTURE SETTING」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

お知らせ

- 「PICTURE MODE」で選んだ画質ごとに、「PICTURE SETTING」の項目を調節できます。調節した内容は記憶されます。
- 次の入力の場合は「PHASE」は調節できません(メニューに表示されません)。RGB、PAL、SECAM、白黒(50Hz/60Hz)
- 色温度の詳細な設定は、セットアップメニューで行います。(☞ 「COLOR TEMP.」29ページ)

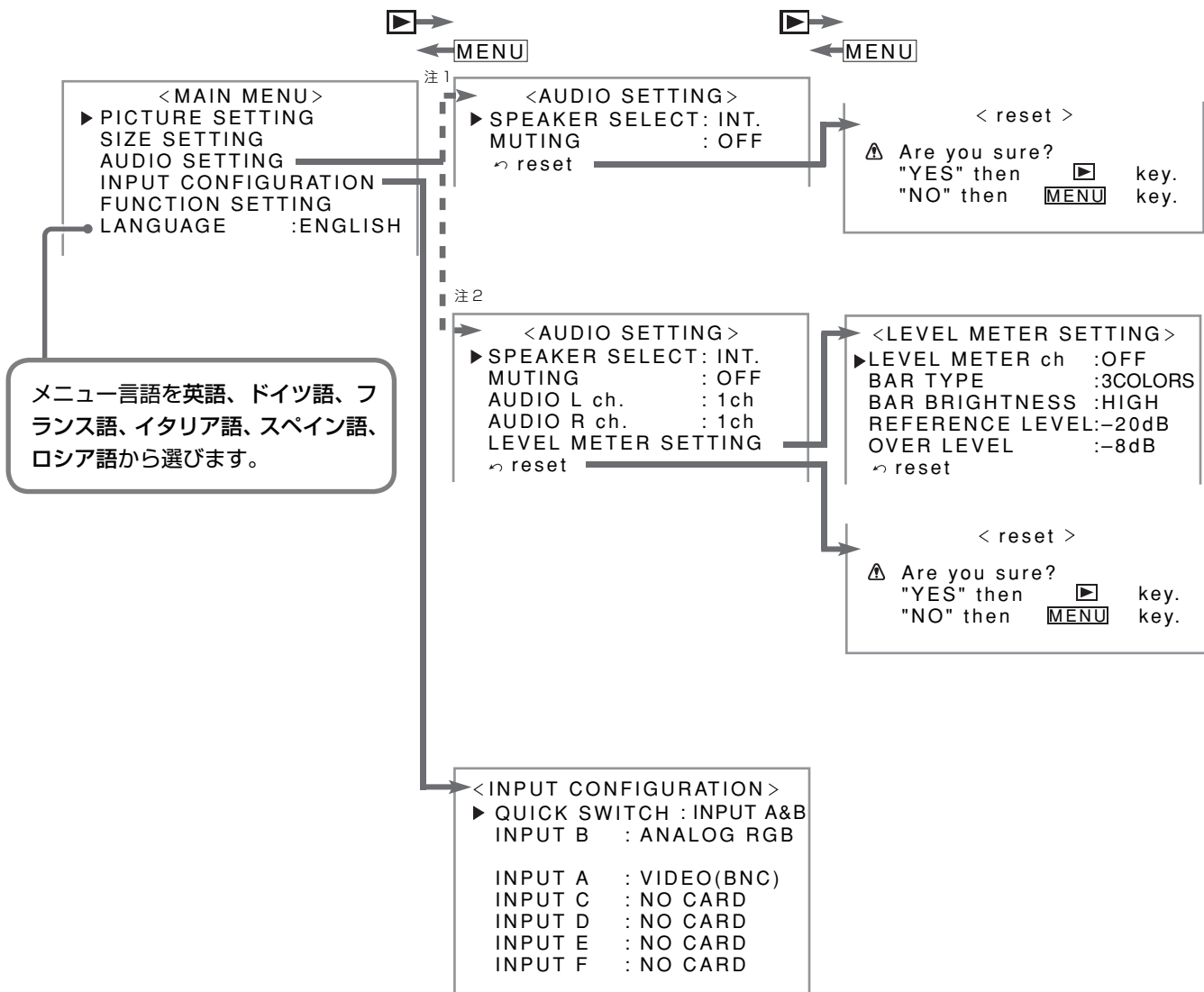
SIZE SETTING

項目名	内容	設定値
H SIZE	画面の水平方向の大きさを調節します。	
H POSITION	画面の水平方向の位置を調節します。	マイコンが設定範囲を自動的に変更します。
V SIZE	画面の垂直方向の大きさを調節します。	
V POSITION	画面の垂直方向の位置を調節します。	
DOT CLOCK	パソコンのアナログRGB入力時の画面のちらつきや縞模様を、CLOCK PHASEとあわせて調節します。	マイコンが設定範囲を自動的に変更します。
CLOCK PHASE	パソコンのアナログRGB入力時の画面のちらつきや縞模様を、DOT CLOCKとあわせて調節します。	-32 ↔ 00 ↔ +32
ASPECT	画面サイズを選びます。(☞ 「画面サイズを切り換える」19ページ)	REGULAR、FULL、ZOOM、PANORAMIC、REAL DOT
sub menu	調節バーを使って、H SIZE、H POSITION、V SIZE、V POSITION、DOT CLOCK、CLOCK PHASEを映像を見ながら調節できます。	
reset	「SIZE SETTING」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

お知らせ

- 「SIZE」または「POSITION」を変えた瞬間に映像が乱れることがありますが、故障ではありません。
- 画面の「SIZE」と「POSITION」の設定値は関連しており、一方の設定値が大きいと、他方の設定値が制限されることがあります。
- パソコンのDVI入力時は、次の項目は自動で調節されます(メニューに表示されません)。H SIZE、H POSITION、V SIZE、V POSITION、DOT CLOCK、CLOCK PHASE

メインメニューの設定 (つづき)



注¹ HD/SD SDIまたはSDIインプットカード(別売)を装着していないとき

注² HD/SD SDIまたはSDIインプットカード(別売)を装着しているとき

AUDIO SETTING

項目名	内容	設定値
SPEAKER SELECT	使用するスピーカーを選びます。	INT. (内蔵)、EXT. (外部)
MUTING	消音します。	ON、OFF
AUDIO L ch.	EMBEDDED AUDIO信号の左音声のチャンネルを選びます。	1ch ↔ 8ch
AUDIO R ch.	EMBEDDED AUDIO信号の右音声のチャンネルを選びます。	1ch ↔ 8ch
LEVEL METER SETTING	EMBEDDED AUDIO信号のレベルメーター表示を設定します。(※「レベルメーターの表示例」下記)	
LEVEL METER ch	表示するチャンネルの組み合わせを選びます。数字は音声チャンネルを示します。「:」の左側のチャンネルの入力レベルを画面の左側に、「:」の右側のチャンネルの入力レベルを画面の右側に表示します。	OFF、1:2、12:34、31:24、123:456、1-8
BAR TYPE	バーの色を設定します。	3COLORS (レベルに応じて色分け)、W.100 (白色)、W.50 (白色ハーフトーン)
BAR BRIGHTNESS	表示の明るさを設定します。	HIGH、LOW
REFERENCE LEVEL	標準入力レベルを設定します。	-20dB、-18dB
OVER LEVEL	「3COLORS」表示のときに、赤色で表示する入力レベルの下限を設定します。	-10dB、-8dB、-6dB、-4dB、-2dB
reset	レベルメーターの設定をお買い上げ時の状態に戻します。	
reset	「AUDIO SETTING」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

お知らせ

EMBEDDED AUDIO の設定(AUDIO L / R ch.、LEVEL METER SETTING)は、HD/SD SDI または SDI インพุットカード(別売) 装着時のみ表示されます。

INPUT CONFIGURATION

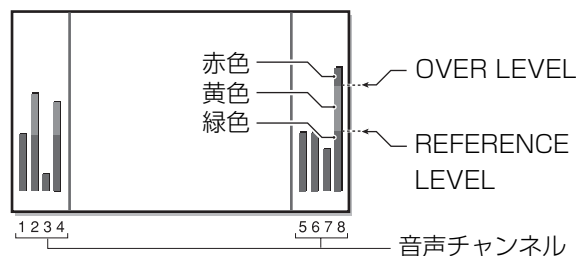
項目名	内容	設定値
QUICK SWITCH	入力Aと入力Bを素早く切り換えるときに設定します。(設定しないときはOFFにします。)	OFF、INPUT A&B
INPUT B	入力Bで使用する信号の種類を選びます。	ANALOG RGB、DVI、COMPONENT
INPUT A	入力Aで使用している端子を表示します(「VIDEO (BNC)」または「VIDEO (Y/C)」)。	—
INPUT C/D/E/F	カードスロットの状態を表示します。インพุットカードを装着していないときは「NO CARD」と表示されます。	—

レベルメーターの表示例—レベル表示位置とチャンネルの関係

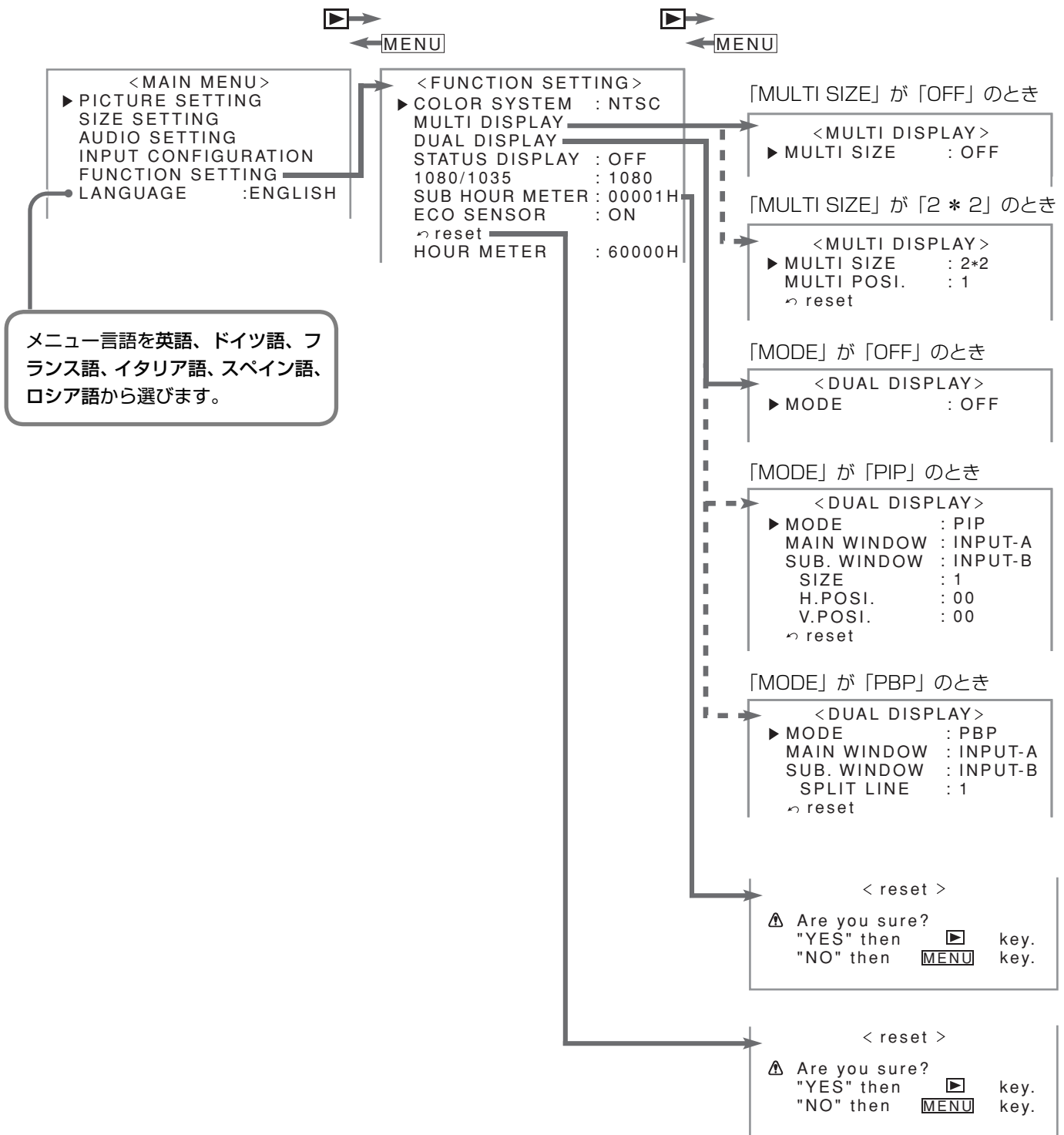
例： LEVEL METER ch: 1-8、
BAR TYPE: 3COLORS のとき

お知らせ

- 「W.100」または「W.50」の場合、「REFERENCE LEVEL」で設定した標準入力レベルを線で示します。「OVER LEVEL」で設定したレベルは表示しません。
- 信号入力がない音声チャンネルのバー表示は「3COLORS」設定時は白、その他の設定のときは灰色になります。



メインメニューの設定 (つづき)



FUNCTION SETTING

項目名	内容	設定値
COLOR SYSTEM	カラー方式を選びます。「AUTO」で不安定なときには入力信号に合わせて選びます。	AUTO、NTSC、PAL、SECAM、N4.43、PAL M、PAL N、PAL60
MULTI DISPLAY	4台のディスプレイを重ねて使用するときの設定をします(マルチディスプレイ)。(※「MULTI DISPLAYの設定例」下記)	
MULTI SIZE	マルチディスプレイを「入」(縦2台*横2台) / 「切」します。	OFF、2*2
MULTI POSI.	「MULTI SIZE」で「2*2」を選んだときに、本機の位置を設定します。	1 ~ 4
reset	「MULTI DISPLAY」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	
DUAL DISPLAY	2画面表示の設定をします。(※「入力Aと入力B (アナログRGB入力)を同時に見る」20ページ)	
MODE	2画面表示のモードを選びます。	OFF、PIP、PBP
MAIN WINDOW	メイン画面の入力を表示します(「INPUT-A」または「INPUT-B」)。	—
SUB. WINDOW	サブ画面の入力を表示します(「INPUT-A」または「INPUT-B」)。	—
SIZE	サブ画面の大きさを選びます。(表示モードがPBPのときは表示されません。)	1 ~ 4
H.POSI. /V.POSI.	サブ画面の水平/垂直位置を調節します。(表示モードがPBPのときは表示されません。)	-20 ↔ 00 ↔ +20
SPLIT LINE	メイン画面とサブ画面の境界の位置を選びます。(表示モードがPIPのときは表示されません。)	1 ~ 5
reset	「DUAL DISPLAY」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	
STATUS DISPLAY	現在選んでいる入力の情報の表示/非表示を設定します。(※「ステータスを表示する」19ページ)	OFF、ON
1080/1035	コンポーネント信号入力時に、入力信号にあわせてデジタルハイビジョン用(1080)またはアナログハイビジョン用(1035)を選びます。	1080、1035
SUB HOUR METER	毎回の使用時間を表示します(単位:時間)。この項目のみのリセットができます。	
ECO SENSOR	部屋の明るさにあわせて、画面の明るさを自動で調節します。	ON、OFF
reset	「FUNCTION SETTING」の「MULTI DISPLAY」、「DUAL DISPLAY」、「HOUR METER」以外の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	
HOUR METER	合計使用時間を表示します。本機の保守の際に確認します(単位:時間)。この項目はリセットできません。	

お知らせ

- 「MULTI SIZE」が「2 * 2」のときは、2画面表示は使用できません。
- 2画面表示中は、「MULTI DISPLAY」はメニューに表示されません。

2画面表示モード対応入力信号について

2画面表示モードは、入力Aと入力Bにそれぞれ次の信号が入力されているときのみメニューに表示されます。

- 入力A : NTSC、PAL、SECAM、PAL M、PAL N、PAL60、NTSC4.43、白黒 (50Hz/60Hz)
- 入力B (アナログRGBのみ) : VGA60、WVGA60、XGA60、WXGA60

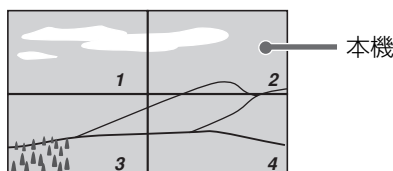
マルチディスプレイ対応入力信号について

マルチディスプレイは、次の信号が入力されているときのみ使用できます。

- コンポジット信号 : NTSC、PAL、SECAM、PAL M、PAL N、PAL60、NTSC4.43、白黒 (50Hz/60Hz)
- アナログコンポーネント信号 : 480/60i、576/50i、1080/60i、1080/50i
- アナログRGB信号 : VGA60、XGA60

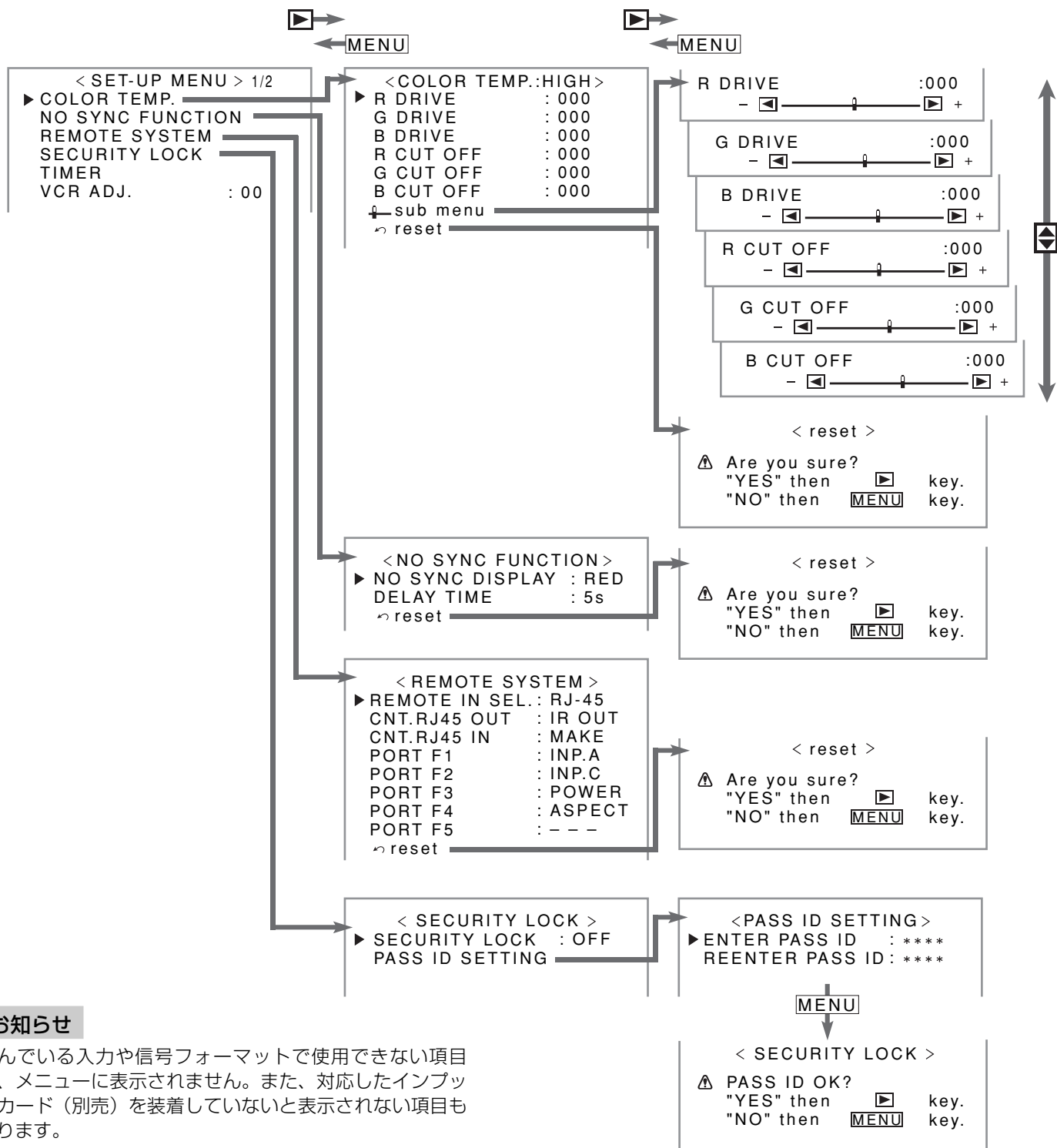
MULTI DISPLAY の設定例

例 : MULTI SIZE: 2 * 2、MULTI POSI.: 2 のとき



セットアップメニューの設定

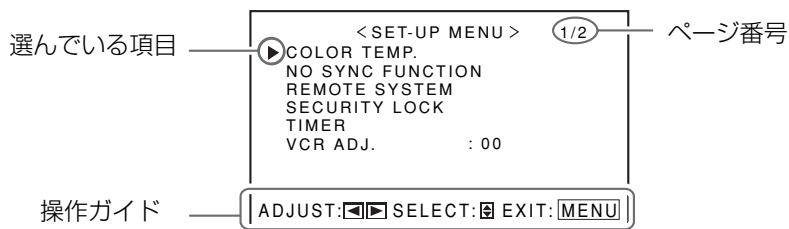
セットアップメニューでは、色温度や時刻などの初期設定を行います。



お知らせ

選んでいる入力や信号フォーマットで使用できない項目は、メニューに表示されません。また、対応したインプットカード（別売）を装着していないと表示されない項目もあります。

セットアップメニュー画面の構成



メニュー操作に使用するボタンを表示します。

COLOR TEMP.

項目名	内容	設定値
R DRIVE、G DRIVE、 B DRIVE	赤(R)、緑(G)、青(B)のドライブレベルを調節します。	MIN ↔ 000 ↔ MAX (512段階)
R CUT OFF、G CUT OFF、 B CUT OFF	赤(R)、緑(G)、青(B)のカットオフ点を調節します。	MIN ↔ 000 ↔ MAX (512段階)
sub menu	調節バーを使って、赤、緑、青のドライブレベルとカットオフ点を映像を見ながら調節できます。	
reset	「COLOR TEMP.」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

お知らせ

メインメニューで色温度 (HIGH、MID、LOW、OTHER) を選んでから調節します。(☞ 「PICTURE SETTING」 23 ページ)

NO SYNC FUNCTION

項目名	内容	設定値
NO SYNC DISPLAY	入力信号がないときの画面の色(またはスリープモード)を設定します。	OFF、SLEEP(スリープモード)、RED、GREEN、BLUE、GRAY
DELAY TIME	入力信号がなくなってから「NO SYNC DISPLAY」で設定した表示(またはスリープモード)に切り換わるまでの時間を設定します。	5s、1min.、30min.
reset	「NO SYNC FUNCTION」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

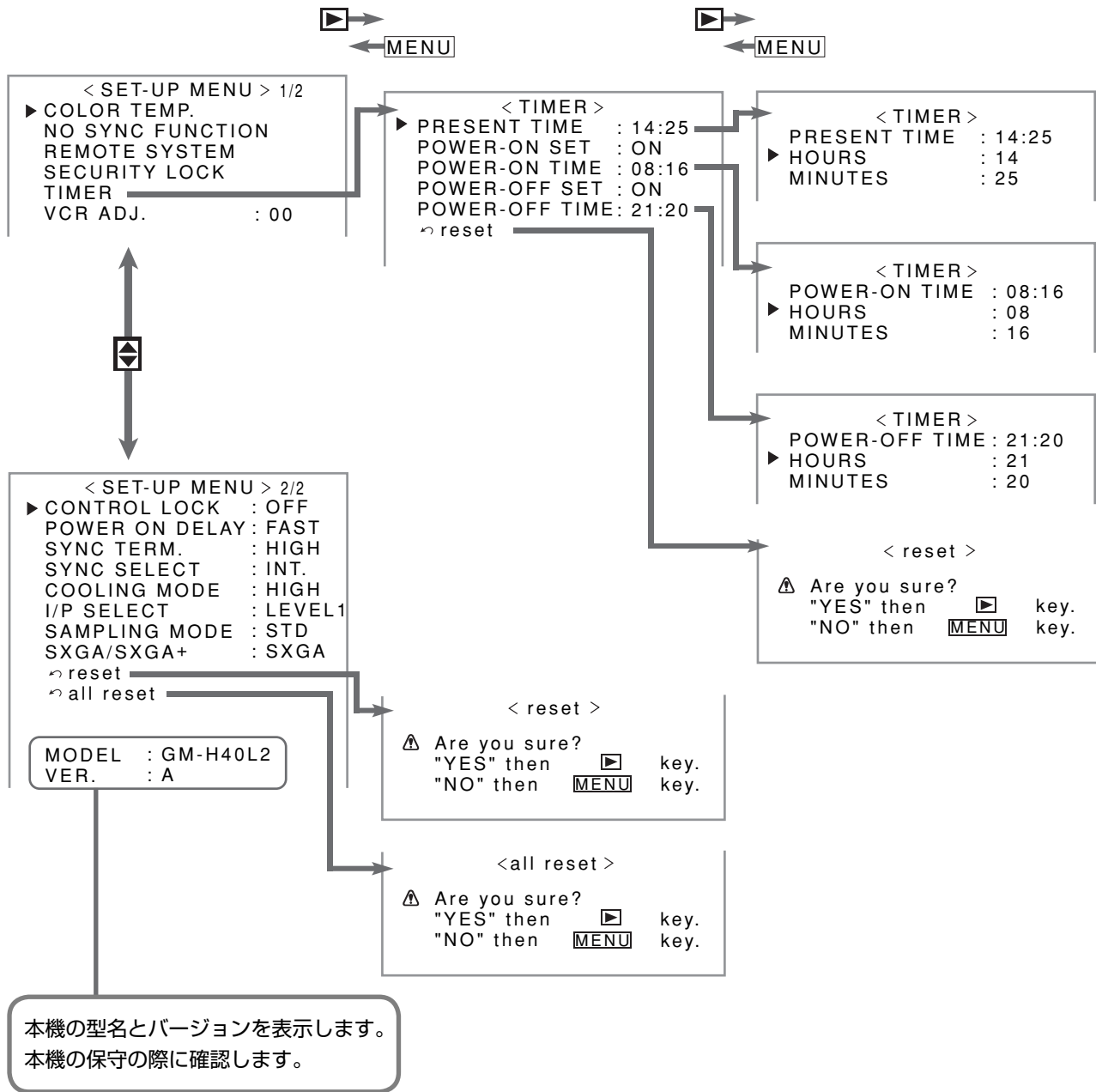
REMOTE SYSTEM (☞ 「外部制御の使いかた」 33 ~ 37 ページ)

項目名	内容	設定値
REMOTE IN SEL.	外部制御信号入力端子を選びます。	D-sub9、RJ-45
CNT. RJ45 OUT	RS-485 OUT端子の制御方式を選びます。	RS485、IR OUT
CNT. RJ45 IN	RS-485 IN端子の制御方式を選びます。	RS485、MAKE、TRIG.、SET
PORT F1~PORT F5	「CNT. RJ45 IN」を「SET」に設定したとき、RS-485 IN端子のピン番号1~5のピンの制御機能を設定します。	INP.A~INP.F、POWER、ASPECT、MUTING、PIP、PBP、--- (機能なし)
reset	「REMOTE SYSTEM」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

SECURITY LOCK (☞ 「セキュリティロックを設定する」 32 ページ)

項目名	内容	設定値
SECURITY LOCK	セキュリティロック機能を設定します。	ON、OFF
PASS ID SETTING	パスワードを設定します。	4桁の英数字を選びます。

セットアップメニューの設定 (つづき)



TIMER

項目名	内容	設定値
PRESENT TIME	現在の時刻を設定します。	
HOURS	時を設定します。	00 ↔ 23
MINUTES	分を設定します。	00 ↔ 59
POWER-ON SET	電源を「入」にするタイマーを設定します。	ON、OFF
POWER-ON TIME	電源が「入」になる時刻を設定します。	
HOURS	時を設定します。	00 ↔ 23
MINUTES	分を設定します。	00 ↔ 59
POWER-OFF SET	電源を「切」にするタイマーを設定します。	ON、OFF
POWER-OFF TIME	電源が「切」になる時刻を設定します。	
HOURS	時を設定します。	00 ↔ 23
MINUTES	分を設定します。	00 ↔ 59
reset	「TIMER」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

VCR ADJ. 設定値: -05 ↔ 00 ↔ +05

ビデオデッキを再生したときに、画面が乱れる場合に調整します。(ビデオデッキの種類や、ビデオテープの状態によっては、改善されない場合もあります。)

CONTROL LOCK 設定値: ON、OFF

誤操作やいたずらを防ぐため、本体での操作ができないように設定します。(コントロールロックが設定されていても、すべてのリモコン操作と外部機器制御はできます。)

POWER ON DELAY 設定値: OFF、FAST、SLOW

電源ボタンを押してから電源が「入」になるまでの時間を選びます。複数のディスプレイを使用しているときに「SLOW」にすると、突入電流を抑えられます。

SYNC TERM. 設定値: HIGH、LOW

コンポーネント/RGB入力カード(別売)を装着しているとき、RGB入力端子の水平同期信号/複合同期信号、垂直同期信号の終端抵抗値を設定します。通常は「HIGH」(1 kΩ)に設定します。接続ケーブルが長いなどの理由で画面にちらつきがみられるときは「LOW」(75 Ω)にします。

SYNC SELECT 設定値: INT. (映像信号に含まれる同期信号)、EXT. (外部同期信号)

ビデオ入力カード(別売)を装着しているとき、同期信号を設定します。

COOLING MODE 設定値: HIGH、LOW

内蔵ファンの回転数を設定します。本機を縦型で使用するときは「HIGH」に設定します。(通常は「LOW」に設定します。)

I/P SELECT 設定値: LEVEL1、LEVEL2、LEVEL3

画面のノイズが気になるときに、ノイズが一番少ないレベルを選びます。

SAMPLING MODE 設定値: STD、WIDE

アナログRGB入力でVGA60またはXGA60信号を入力するときは「STD」を、WVGA60またはWXGA60信号を入力するときは「WIDE」を選びます。それ以外の信号のときはどちらに設定していても影響ありません(メニュー画面に表示されません)。

SXGA/SXGA+ 設定値: SXGA、SXGA+

アナログRGB入力でSXGA60信号を入力するときは「SXGA」を、SXGA+60またはSXGA+60*信号を入力するときは「SXGA+」を選びます。それ以外の信号のときはどちらに設定していても影響ありません(メニュー画面に表示されません)。

reset

セットアップメニューで設定したすべての項目をお買い上げ時の状態に戻します。

all reset

メインメニューやセットアップメニューで設定したすべての項目をお買い上げ時の状態に戻します(「LANGUAGE」、「HOUR METER」、「SECURITY LOCK」、「PASS ID SETTING」を除く)。リセットすると、いったん電源が切れ、自動的に電源が入ります。

セットアップメニューの設定 (つづき)

セキュリティロックを設定する

セキュリティロックをオンにしていると、本機の電源を入れるときにパスワードの入力が必要になります。正しいパスワードを入力しないと、パスワードの入力と電源を「切」にする以外の操作はできません。

パスワードを変更する

お買い上げ時は、パスワードは「0000」に設定されています。任意の英数字 4 桁に変更してください。設定したパスワードは、忘れないようにメモしてください。

入力できる文字：0～9、A～Z、a～z

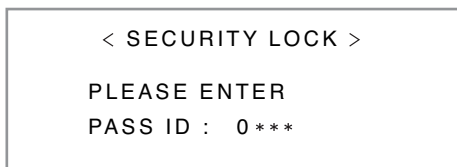
<リモコンのみ>

1 セットアップメニューの SECURITY LOCK サブメニューを表示して、「PASS ID SETTING」を選ぶ

2 ▶ を押す

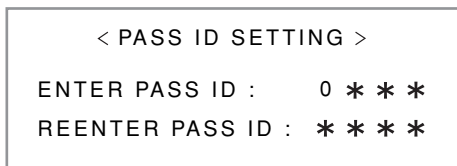
パスワード入力画面が表示されます。

3 現在のパスワードを入力する



☞ 「パスワードの入力のしかた」下記
パスワード設定画面が表示されます。

4 新しいパスワードを入力する



☞ 「パスワードの入力のしかた」下記

5 OK を押す

カーソルが 2 行目に移動します。

6 確認のため、もう一度新しいパスワードを入力して、OK を押す

- 手順 4 で入力したパスワードと手順 6 で入力したパスワードが違うときは、「PASS ID NG!」と表示され、SECURITY LOCK サブメニューに戻ります。もう一度手順 1 から設定してください。

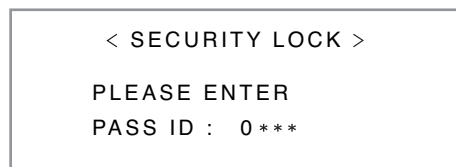
セキュリティロックをオンにする

1 セットアップメニューの SECURITY LOCK サブメニューを表示して、「SECURITY LOCK (: OFF)」を選ぶ

2 ▶ を押す

パスワード入力画面が表示されます。

3 パスワードを入力する



☞ 「パスワードの入力のしかた」下記

設定が「ON」になります。

- セキュリティロックをオンにすると、本機の電源を入れるときにパスワードの入力が必要になります。「パスワードの入力のしかた」(下記)に従って、パスワードを入力してください^注。

^注 セキュリティロックがオンのときでも、電源を「入」にするタイマー (☞ 「POWER-ON SET」31 ページ) が「ON」のときは、設定した時刻に電源が入ります。このとき、パスワードの入力は必要ありません。

セキュリティロックをオフにする

1 セットアップメニューの SECURITY LOCK サブメニューを表示して、「SECURITY LOCK (: ON)」を選ぶ

2 ▶ を押す

パスワード入力画面が表示されます。

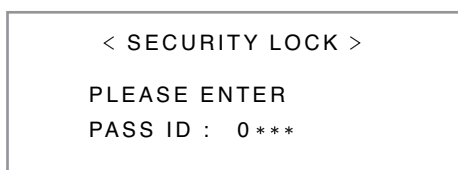
3 パスワードを入力する

☞ 「パスワードの入力のしかた」下記

設定が「OFF」になります。

パスワードの入力のしかた

以下の手順でパスワードを入力してください。



- お買い上げ時は、パスワードは「0000」に設定されています。

パスワードは忘れないように、メモなどをとってください。

万一パスワードを忘れた場合は、別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

<リモコンのみ>

1 ▲▼ ボタンを押して英数字を選ぶ

- 入力中の桁の英数字が点滅し、それ以外の桁は「*」で表示されます。

2 ◀▶ ボタンを押して隣の桁に移動する

3 4 桁の入力を終えたら、OK ボタンを押して確定する

- パスワードが間違っていると、「PASS ID NG!」と表示されます。正しいパスワードを入力してください。

外部制御の使いかた

外部制御の概要

本機には 2 種類の外部制御端子を備えています。

- RS-232C 端子： パソコンまたは専用コントローラーでディスプレイを制御します。(☞「シリアル方式での外部制御」34、35 ページ)
- RS-485 端子： 以下の 4 種類の外部制御方式から選べます。
 - ① シリアル方式： パソコンまたは専用コントローラーでディスプレイを制御します。(☞34、35 ページ)
 - ② IR OUT 方式： 本機に付属のリモコンで他の機器を制御します。
 - ③ MAKE (メイク接点方式)： 制御するピン端子を短絡 (GND とショート) または、開放 (端子オープン) することで機能を制御します。(☞36、37 ページ)
 - ④ TRIG. (トリガー方式)： 制御するピン端子に瞬間的にパルス信号を入力することで機能を制御します。(☞36、37 ページ)

ご使用の外部制御端子と制御方式にあわせて、セットアップメニューの「REMOTE SYSTEM」の各項目を下の表のように設定してください。(☞29 ページ)

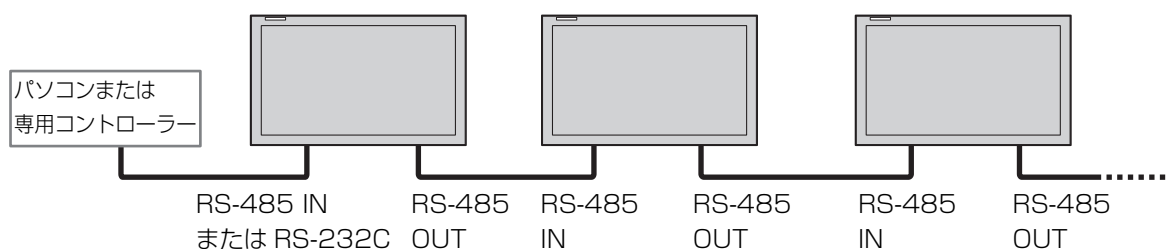
外部制御方式		REMOTE IN SEL. の設定	CNT. RJ45 OUT の設定	CNT. RJ45 IN の設定
シリアル方式	RS-485	RJ-45 ^{注1}	RS485	RS485
	RS-232C	D-sub9 ^{注1}	RS485	RS485
IR OUT		任意 (設定は不要です)	IR OUT	任意 (設定は不要です)
MAKE		RJ-45	RS485	MAKE
TRIG.		RJ-45	RS485	TRIG.

^{注1} 外部制御機器に接続したディスプレイは、接続した端子に合わせて設定します。2 台め以降は「RJ-45」に設定します。

お知らせ

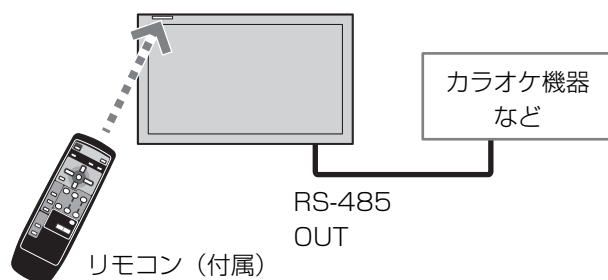
- 外部制御を使用中の本機の操作には次のような優先順位があります。
MAKE / TRIG. 方式 > シリアル方式 > 本機の本体またはリモコンのボタン
- コントロールロック (☞31 ページ) がオンのときも、外部機器から制御できます。

<シリアル方式>



- 34、35 ページもご覧ください。

<IR OUT 方式>



<MAKE、TRIG. 方式>

パソコンまたはコントローラー^{注2}で本機を制御します。詳しくは 36、37 ページをご覧ください。

^{注2} 別途制作の必要があります。

外部制御の使いかた (つづき)

シリアル方式での外部制御

RS-485 端子または RS-232C 端子を使って、本機をパソコンまたは専用コントローラーから制御します。

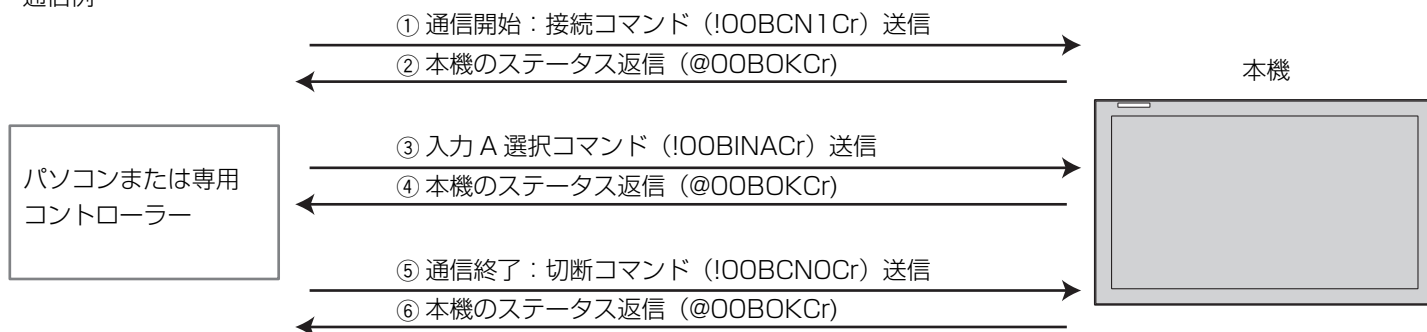
<通信仕様>

使用する端子	ケーブル	端子の仕様	通信仕様
RS-485 端子	ストレート LAN ケーブル	☞ 35 ページ	ボーレート : 4800 bps
RS-232C 端子	D-sub9 ピン型コネクタのストレートケーブル (ディスプレイ側: オス、パソコン側: メス)		データ長 : 8 ビット
			パリティ : なし
			ストップビット : 1 ビット
			フロー制御 : なし
			通信コード : ASCII コード

<コマンド概要>

ディスプレイの初期起動時は、パソコンまたは専用コントローラーと通信可能な状態になっていません。通信開始時に接続コマンド、通信終了時に切断コマンドが必要です。

通信例



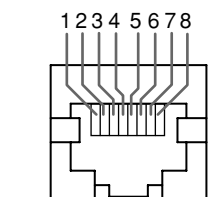
- ・「!」で始まるコマンドは、パソコンまたは専用コントローラーからディスプレイへの制御コマンドです。詳しくは、35 ページのコマンド一覧をご覧ください。
- ・「@」で始まるコマンドは、ディスプレイからパソコンまたは専用コントローラーへの返信 (正常ステータス発行) です。

< コマンド一覧 >

種別	No.	コマンド名	機能	データ内容
基本コマンド	1	! * * B C N 1 Cr	通信開始 (接続)	なし
	2	! * * B C N 0 Cr	通信終了 (切断)	なし
	3	! * * B I D S E T Cr	個別制御 ID の割付	なし
	4	! * * B I D R E T Cr	個別制御 ID の初期化	なし
	5	! * * B I D D S P x x Cr	ID の表示 / 非表示	00 : 非表示, 01 : 表示
	6	! * * B I D C H K x x Cr	指定した ID のディスプレイの ID No. を点滅表示 / 非表示	00 : 非表示, 01 : 表示
	7	! * * B M E N U Cr	メインメニューの表示 / メニュー操作の終了	なし
	8	! * * B U P Cr	項目選択 (▲)	なし
	9	! * * B D O W N Cr	項目選択 (▼)	なし
	10	! * * B A D J R Cr	設定・調整 (▶/+)	なし
	11	! * * B A D J L Cr	設定・調整 (◀/-)	なし
	12	! * * B E N T E R Cr	セキュリティロックのパスワードの決定	なし
	13	! * * B S E T U P Cr	セットアップメニュー表示	なし
	14	! * * B P W 1 Cr	ディスプレイ電源「入」	なし
	15	! * * B P W 0 Cr	ディスプレイ電源「切」	なし
	16	! * * B I N A Cr	入力 A 選択	なし
	17	! * * B I N B Cr	入力 B 選択	なし
	18	! * * B I N C Cr	入力 C 選択	なし
	19	! * * B I N D Cr	入力 D 選択	なし
	20	! * * B I N E Cr	入力 E 選択	なし
	21	! * * B I N F Cr	入力 F 選択	なし
	22	! * * B D I S P Cr	ステータス表示	なし
	23	! * * B V P L S Cr	音量を上げる	なし
	24	! * * B V M N S Cr	音量を下げる	なし
	25	! * * B V O L x x Cr	音量調節	0 ~ 30
	26	! * * B A M U T E x x Cr	消音「入」 / 「切」	00 : 「切」、01 : 「入」
	27	! * * B A S P x Cr	画面サイズ選択	0 : REGULAR, 1 : FULL, 2 : ZOOM, 3 : PANORAMIC, 4 : REAL DOT
	28	! * * B A S P T Cr	画面サイズ切り換え	なし
	29	! * * B P I C M O D E x Cr	画質選択	0 : DYNAMIC, 1 : NORMAL, 2 : USER
	30	! * * B P I P x Cr	PIPモード「入」 / 「切」	0 : 「切」、1 : 「入」
	31	! * * B P B P x Cr	PBPモード「入」 / 「切」	0 : 「切」、1 : 「入」

- ・「**」は、ディスプレイの ID です。通常は「00」に設定します。
- ・「xx」または「x」にはデータ内容を入力します。
- ・「Cr」は ODh です。
- ・通信開始 (接続) コマンド (No.1)、通信終了 (切断) コマンド (No.2)、ディスプレイ電源「入」コマンド (No.14) は、ディスプレイの電源が「切」のときも通信できます。

< RS-485 端子の仕様 >

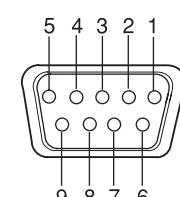


端子はメスです。

ピン番号	IN 端子信号	OUT 端子信号
1	TXD+	TXD+
2	TXD-	TXD-
3	RXD+	RXD+
4	NC	NC
5	NC	IR. OUT
6	RXD-	RXD-
7	5V 電源	NC
8	GND	GND

- ・7 番ピンの 5V 電源は専用コントローラー用電源です。他の機器には使用しないでください。

< RS-232C 端子の仕様 >



端子はメスです。

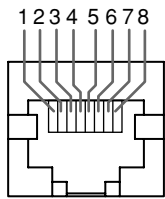
ピン番号	信号
1	-
2	RD (Receive Data)
3	TD (Transmit Data)
4	-
5	GND (Ground)
6	-
7	RTS
8	CTS
9	-

- ・7 番ピンと 8 番ピンは接続されています。

外部制御の使いかた (つづき)

MAKE / TRIG. 方式での外部制御

RS-485 IN 端子のピン配列と、各ピンの端子名は以下のようになっています。1 番から 5 番までのピンの機能は、セットアップメニューの「REMOTE SYSTEM」で割り当てることができます。(☞「PORT F1 ~ PORT F5」29 ページ)



端子はメスです。

ピン番号	端子名
1	PORT F1
2	PORT F2
3	PORT F3
4	PORT F4
5	PORT F5
6	ENABLE
7	NC
8	GND

端子の機能を割り当てるには

メニューの操作方法については、21 ページをご覧ください。

- 1 セットアップメニューを表示して、「REMOTE SYSTEM」を選ぶ
- 2 「CNT. RJ45 IN」を「SET」に設定する
- 3 「PORT F1」～「PORT F5」で割り当てたい端子名 (PORT F1 ~ F5) を選び、機能を割り当てる
 - 割り当てられる機能については、下の表をご覧ください。

MAKE / TRIG. 方式で制御可能な機能

ディスプレイ表示	制御する機能	開放	短絡
INP. A	入力 A へ切り換え	無効	有効
INP. B	入力 B へ切り換え	無効	有効
INP. C	入力 C へ切り換え	無効	有効
INP. D	入力 D へ切り換え	無効	有効
INP. E	入力 E へ切り換え	無効	有効
INP. F	入力 F へ切り換え	無効	有効
POWER	電源「入」 / 「切」	「入」	「切」
ASPECT	画面サイズ切り換え	REGULAR	FULL
MUTING	消音「入」 / 「切」	「切」	「入」
PIP	PIP モードへ切り換え (☞20 ページ)	無効	有効
PBP	PBP モードへ切り換え (☞20 ページ)	無効	有効
---	機能なし	—	—

お知らせ

- 2 つのピンに、同じ機能を割り当てることはできません。
- TRIG. (トリガー) 方式の場合は、約 1 秒間短絡して開放する操作により設定が交互に切り換わります。

操作方法

- 1 外部制御 (6 番ピン) を 8 番ピンに短絡して外部制御を有効にする
- 2 セットアップメニューの「REMOTE SYSTEM」で「CNT. RJ45 IN」を「MAKE」または「TRIG.」に設定する
- 3 MAKE (メイク接点) 方式の場合： 各機能のピンを 8 番ピンに短絡または開放して制御する
TRIG. (トリガー) 方式の場合： 各機能のピンを約 1 秒間 8 番ピンに短絡して開放する操作 (パルス制御) で制御する

お知らせ

- 入力 (INP. A ~ INP. F) を切り換えるときは、現在有効になっているピンを無効にしてから、切り換えたいピンを有効にしてください。
- PIP と PBP を切り換えるときは、現在有効になっているモードを無効にしてから、もう一方を有効にしてください。
- TRIG. (トリガー) 方式では、複数の端子を一度に操作しても動作しません。必ず一つずつ順番に操作してください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼の前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

自己診断ランプが点灯（点滅）している

- 40ページにしたがって確認してください。



電源が入らない

- 電源プラグは正しくつながっていますか？
(☞17ページ)
- 主電源スイッチは入れましたか？
(☞18ページ)

映像が出ない

- 入力を正しく選んでいますか？
(☞18ページ)
- 接続機器を正しく接続していますか？
(☞16～17ページ)
- 接続機器から信号が出ていますか？
- 明るさは正しく調節されていますか？
(☞23ページ)

音が出ない

- 音量が最小になっていませんか？
(☞18ページ)
- 消音になっていませんか？(☞18ページ)

リモコンで操作ができない

- 乾電池は正しい向きで入っていますか？
(☞9ページ)
- 乾電池が消耗していませんか？
- リモコンを本体に向けずに操作していませんか？
- リモコンと本体の間が障害物にさえぎられていませんか？
- 距離が離れすぎていませんか？



突然電源が入る／切れる	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源を「入」「切」するタイマーがオンになっています。タイマーをオフにしてください。 	31
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ■ RGB入力の信号のときは、メインメニューの「DISPLAY SETTING」で「DOT CLOCK」と「CLOCK PHASE」を調節してください。 ■ RGB入力端子への接続ケーブルが長いときは、セットアップメニューの「SYNC TERM.」を「LOW」にしてください。 	23 ・ 31
映像が異常に明るい・暗い	<ul style="list-style-type: none"> ■ メインメニューの「PICTURE SETTING」で画質を調節してください。 ■ 画面に「TEMP. OVER」が表示されているときは、自己診断表示にしたがって確認してください。 	23 ・ 40
映像が切れる・片寄っている	<ul style="list-style-type: none"> ■ 接続機器の信号(走査周波数など)が入力可能な信号であるかを確認し、対応した信号を入力してください。 ■ メインメニューの「SIZE SETTING」で、画面の位置や大きさを正しく調節してください。 	14 ・ 23
メニューが出ない・出てもすぐに消えてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ■ RGB/COMPO.端子にパソコンを接続しているときにメインメニュー「INPUT CONFIGURATION」の「INPUT B」を「COMPONENT」にすると、メニュー操作ができません。ほかの入力に切り換えて、「INPUT B」を「ANALOG RGB」に設定してください。 	25
メニューに表示されない項目がある	<ul style="list-style-type: none"> ■ 選んでいる入力や信号フォーマットで使用できない項目は、メニューに表示されません。入力や信号フォーマットを切り換えてください。また、対応したインプットカード(別売)を装着していないと表示されない項目もあります。 	-
電源を入れようとする 「PLEASE ENTER PASS ID」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ■ セキュリティロックが設定されています。パスワードを入力して、セキュリティロックを解除してください。 	32
本体で操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ■ コントロールロックがオンになっているときは、オフにしてください。 	31

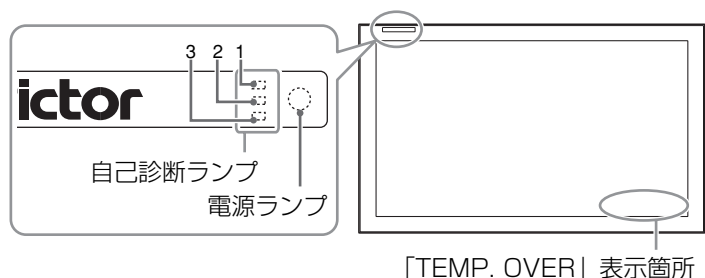
こんなときは故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。
- 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ故障ではありません。
 - ・ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感じる場合。
 - ・本体の天面や背面の一部が熱くなっている場合。
 - ・本機から「ミシッ」という音がする場合。
 - ・本体の内部から動作音が聞こえる場合。

故障かな？と思ったら (つづき)

自己診断表示

本機には自己診断機能がついています。本機に異常が起きたときに、ランプで本機の状態をお知らせし、より迅速にサービス対応させていただくための機能です。



● 画面が消え、自己診断ランプが点灯／点滅したら

自己診断ランプが赤く点灯／点滅したら、どのランプが点灯／点滅しているか確認の上、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

- お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談の際は、下記報告書をコピーし、ファックス用紙としてご利用ください。

自己診断表示のランプが次のような表示のとき

ランプ 1：点滅 ランプ 2：点灯 ランプ 3：点滅

背面および底面の通気孔にホコリが付着していることが考えられます。

- 本体背面の POWER（主電源）スイッチを「○（切）」にし、電源コードを抜いてから、「お手入れのしかた」（※8 ページ）にしたがって掃除をしてください。
- 掃除をして主電源を入れ直しても自己診断表示が消えないときは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

お知らせ

主電源を切つてすぐにもう一度主電源を入れると、自己診断ランプが点灯（または点滅）し、映像が出ないことがあります。（瞬間的な停電も含まれます。）このようなときは、一度主電源を切り、10 秒以上たってから再び主電源を入れてください。自己診断ランプが点灯（または点滅）しなければ、そのままご使用ください。

お買い上げ販売店

御中

液晶ディスプレイ自己診断報告書

ビクター液晶ディスプレイ GM-H40L2 の自己診断ランプが下記のように点灯（点滅）しました。サービス対応をお願いいたします。

自己診断ランプの状態			
	ランプ位置	状態	
1	上	点灯	点滅
2	中	点灯	点滅
3	下	点灯	点滅

TEMP. OVER	点灯	点滅
------------	----	----

お名前	
電話番号	
ご住所	
型名	GM-H40L2（液晶ディスプレイ）

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

液晶ディスプレイの補修用性能部品の最低保有期間は製造切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、38～40ページの「故障かな?と思ったら」に従って確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ご連絡していただきたい内容

品名	液晶ディスプレイ
型名	GM-H40L2
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	() -
訪問ご希望日	

■修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店 () -
------	-----------------

愛情点検

●長年ご使用のモニター・ディスプレイ・テレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用を
中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ①上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ②法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

はじめに

準備

接続

基本操作

設定

外部制御

困ったときは

付録

主な仕様

一般

● 型名	GM-H40L2
● 画面サイズ	40V 型ワイド
● アスペクト比	16 : 9 (ワイド)
● 液晶パネル	40 型ワイド、アクティブマトリックス TFT
● 有効画面寸法	横幅 88.5 cm × 高さ 49.8 cm × 対角 101.5 cm
● 表示画素数	1366 (横) × 768 (縦)
● 表示色数	約 1677 万色 (RGB 各 256 色)
● 視野角 (標準値)	左右 : 170° 上下 : 170°
● 輝度 (標準値)	400 cd/m ²
● コントラスト比 (標準値)	800 : 1
● 応答速度	20 msec 以下 (Tr + Tf)
● 質量	26.8 kg
● 外形寸法	横幅 98.6 cm × 高さ 59.5 cm × 奥行 12.3 cm
● 使用電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz
● 定格消費電流	2.8 A
● 対応信号フォーマット	☞ 14 ページ
● 音声出力	内部 : 1.7 W + 1.7 W (インピーダンス 8 Ω時) 外部 : 6 Ω ~ 8 Ω 2.2 W + 2.2 W (インピーダンス 6 Ω時)
● スピーカー	2 個内蔵 (4 cm × 7 cm だ円形 2 個、インピーダンス 8 Ω)
● 動作使用条件	温度 0°C ~ 40°C 湿度 20% ~ 80% (非結露) (動作使用条件は設置環境により多少異なります。)

入出力端子

● VIDEO IN A	・ 映像入力 BNC 端子 × 1 1 V (p-p) /75 Ω Y / C 端子 × 1 Y : 1 V (p-p) /75 Ω C (バースト部) : 0.286 V (p-p) /75 Ω (NTSC) 0.3 V (p-p) /75 Ω (NTSC 以外)
● VIDEO IN B	・ 映像出力 BNC 端子 × 1 1 V (p-p) /75 Ω ・ RGB/COMPONENT 入力 D-sub 3 列 15 ピン端子 × 1 (RGB は DDC2B 対応) 映像信号 : G、Y : 1 V (p-p) /75 Ω (同期含む) B、R、P _B /C _B 、P _R /C _R : 0.7 V (p-p) /75 Ω 水平同期 (HD) / 複合同期 (Cs) HD : 0.3 V (p-p) ~ 5 V (p-p) /1 k Ω (正・負極性) Cs : 0.3 V (p-p) ~ 5 V (p-p) /1 k Ω (正・負極性) 垂直同期 (VD) VD : 1 V (p-p) ~ 5 V (p-p) /1 k Ω (正・負極性)
● AUDIO IN A	・ DVI 入力 DVI-D 端子 × 1 (DDC2B 対応)
● AUDIO IN B	・ 音声入力 ピンジャック端子 × 2 (L/R)、500 mV (rms) / ハイインピーダンス
● REMOTE	・ 音声入力 ステレオミニジャック端子 × 1、500 mV (rms) / ハイインピーダンス
● AUDIO OUT	・ RS-232C 入力 D-sub 9 ピン端子 × 1 (RS232C コントロール用) ・ RS-485 入力 RJ-45 ピン端子 × 1 (RS485、MAKE、TRIGGER コントロール用) ・ RS-485 出力 RJ-45 ピン端子 × 1 (RS485、IR OUT コントロール用) ・ MONITOR OUT ピンジャック端子 × 2 (L/R)、出力インピーダンス 600 Ω ・ EXT. SPEAKER スピーカー出力端子 (L/R)、インピーダンス 6 Ω ~ 8 Ω

- ・ 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国ではカラー方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This display set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ・ 画面サイズの V 型 (40V 型等) は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
- ・ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
- ・ 記載の商品や名称 (IBM、Macintosh、PC98 等) は、各社の商標、または登録商標です。
- ・ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・ 本機は「電気用品安全法適合品」および「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

輸送上のお願い

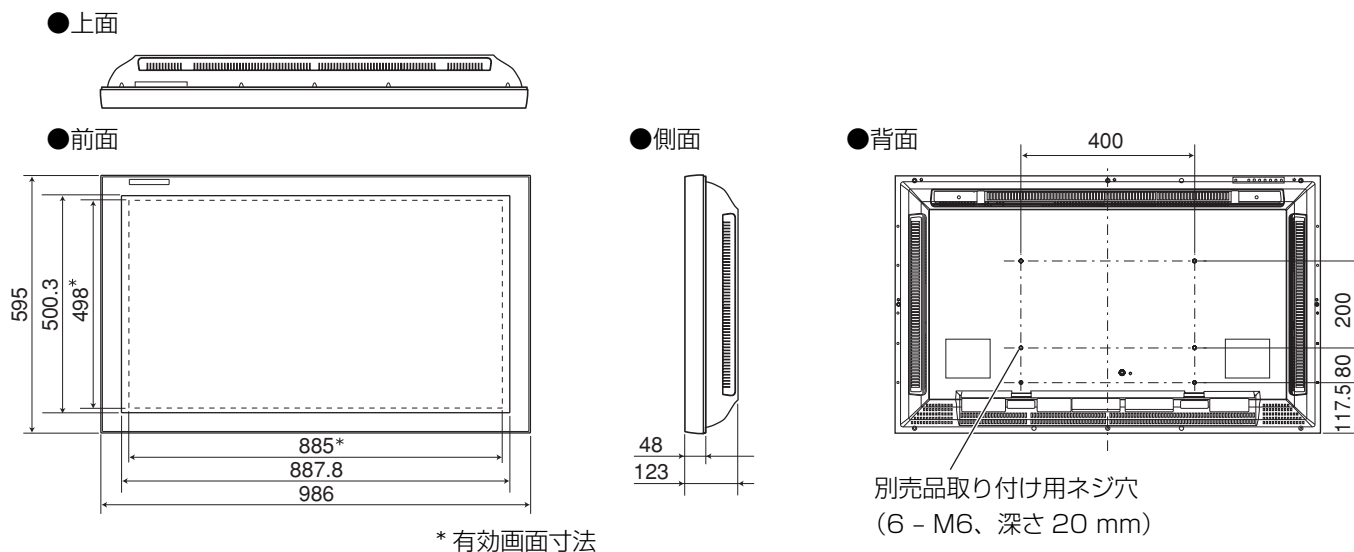
本機は、精密機器のため輸送時には専用の包装材が必要になります。当社以外の包装材は、使用しないでください。

別売品

スタンドユニット : TS-CL03S

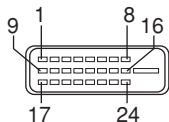
ウォールマウンティングユニット : TS-CV20W

外形寸法図 (単位: mm)



DVI-D 端子の仕様

パソコンのモニター (DVI-D) 出力端子と接続します。



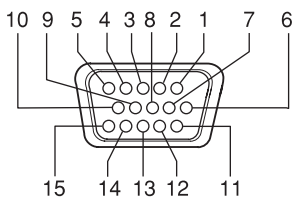
ピン番号	入力信号
1	T.M.D.S Data 2-
2	T.M.D.S Data 2+
3	T.M.D.S Data 2/4 shield
4	NC
5	NC
6	DDC Clock
7	DDC Data
8	NC

ピン番号	入力信号
9	T.M.D.S Data 1-
10	T.M.D.S Data 1+
11	T.M.D.S Data 1/3 shield
12	NC
13	NC
14	+5 V Power
15	GND
16	Hot Plug Detect

ピン番号	入力信号
17	T.M.D.S Data 0-
18	T.M.D.S Data 0+
19	T.M.D.S Data 0/5 shield
20	NC
21	NC
22	T.M.D.S Clock shield
23	T.M.D.S Clock+
24	T.M.D.S Clock-

RGB/COMPO. 端子の仕様

パソコンやビデオデッキなどの再生機器の映像出力端子と接続します。



ピン番号	入力信号
1	赤
2	緑
3	青
4	-
5	GND
6	GND
7	GND
8	GND

ピン番号	入力信号
9	+5 V
10	GND
11	GND
12	DDC データ
13	水平同期 / 複合同期
14	垂直同期
15	DDC クロック
外面	GND

Y/C IN 端子の仕様

ビデオデッキなどの S 映像出力端子と接続します。



ピン番号	入力信号
1	GND (Y)
2	GND (C)
3	Y
4	C

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、39ページをご覧ください。

修理に関するご相談

お買い物情報や全般的なご相談

41ページをご覧ください。



お客様ご相談センター

0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045) 450-8950

FAX (045) 450-2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12